

第七十一回帝國議會 關稅定率法中改正法律案外三件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十二年八月二日(月曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山道 襄一君

理事西村金三郎君 理事宮本雄一郎君
理事本田彌市郎君 理事岩瀬 亮君

坂下仙一郎君 高木桑太郎君

中島彌團次君 山田 清君

塚本 三君 矢野庄太郎君

松浦周太郎君 盛島 明長君

西川 貞一君 中井 一夫君

松岡 俊三君 行吉 角治君

猪野毛利榮君 上田 孝吉君

小平 重吉君 井坂 豐光君

野中 徹也君 笠井 重治君

田原 春次君 岡崎 憲君

道家齊一郎君 渡邊 泰邦君

七月三十一日委員赤城宗徳君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ野中徹也君ヲ議長ニ於テ選定セリ

八月二日委員永江一夫君及中島彌團次君辭

任ニ付其ノ補闕トシテ岡崎憲君及矢野庄太

郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局長 青木 一男君

外務省通商局長 松嶋 鹿夫君

外務事務官 山形 清君

內務省地方局長 坂 千秋君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 尾關 將玄君

農林政務次官 高橋 守平君

農林參與官 助川啓四郎君

農林省水產局長 三宅發士郎君

商工省工務局長 小島 新一君

商工省統制局長 黑田 鴻五君

燃料局長官 竹内 可吉君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入

稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

(關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除

等ニ關スル件)(政府提出)

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案(政府提

出)

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル

特例ニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ輸入稅

免除ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

○山道委員長 是ヨリ開會致シマス、一寸

付託議案
關稅定率法中改正法律案 政府提出
昭和七年法律第四號中改正法律案
(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)
(政府提出)
大正十四年法律第五十一號中改正
法律案(關東州ノ生産ニ係ル物品
ノ輸入稅免除等ニ關スル件)(政府
提出)
鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案
(政府提出)
大正九年法律第五十三號中改正法
律案(關稅法及關稅定率法等ノ朝
鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政
府提出)
昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ
輸入稅免除ニ關スル件)(承諾ヲ求
ムル件)

私カラ一二申上ゲテ置キマス、昨日私內務
省ノ政府委員ガ一人モ居ラレヌト云フコト
ヲ申シマシタガ、間違ヒデアリマシテ、關
係ノ政府委員ガ居ラレヌト云フ意味デアリ
マシタノデ、ソレヲ訂正シテ置キマス、ソ
レカラ昨日ノ祕密會ノ件デアリマスガ、今
日會ノ終リマス直前ニ祕密會ヲ開クコトニ
致シマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ッテ置キ
マス、ソレデハ盛島君

○盛島委員 私ハ此昭和七年ノ法律第四號
中改正法律案ノ中デ、砂糖ニ付テ一寸御質
問ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、委員長カ
ラモ御注意ガアリマスルカラ、極ク簡單ニ
御伺致シマス、此提出案ヲ見マスルト、和
蘭色相ノ第十一號未滿即チ一種糖ニ付テハ、
關稅附加稅ヲ從來ノ通りニ据置キマシテ、
色相二十二號未滿ノ砂糖ニ付テ附加稅ヲ撤
廢スルト云フコトニナッテ居リマスルガ、

斯ウ云フ風ナ改正ヲナサル其理由ハ、ドンナ所ニアルノデアリマセウカ、尙又私ノ察スル所ニ依リマスレバ、是ハ色相第十一號未滿ノ黑糖、白下糖其他ノ糖物糖ノ保護並ニ其ノ値段ノ下ラナイヤウニト云フ風ナ、保護ノ意味カラ出來タモノト私ハ察シマスルガ、是ハドウ云フ風ナ御考デゴザイマセウカ、一寸其點ニ付テ御伺シタイノデアリマス

○太田政府委員 今回砂糖ノ關稅ヲ三割五分ノ附加稅ヲ撤廢致シマシタノハ、既ニ御

案内ノ通り、砂糖ガ一面ニ於テハ消費者ノ爲ニ生活ノ必要品デアリ、而モ他面ニ於キマシテハ我國ノ重要ナル産業ノ一ツデゴザイマス、此點ニ留意致シマシテ、消費者ノ爲ヲ圖リ、且ツ生産者ニ非常ナ損害ヲ來サシメナイヤウナ風ニ、砂糖ノ關稅政策ヲ採ッテ行カナケレバナラナイト考ヘマス、然ルニ最近ノ砂糖ノ關係ニ付キマシテハ、大變値段ノ關係モ良クナッテ居リマスノト、對外關係カラ見マシテモ、「ジャワ」糖ノ壓迫トカ云フヤウナモノモ、大變ニ好クナッテ居リマスノデ、或ハ「ギルダ」ノ安定トカ或ハ本年ノ四月ニアリマシタ世界ノ砂糖會議ノ結果カラ見マシテ、大分良イ狀況ニアルト存ジマシタノデ、三割五分ノ附加稅ダ

ケラ撤廢スルコトニ致シタ次第デアリマス、ソレハ取りモ直サズ消費者ニ取ッテ、此物價對策ノ大切ナ時ニ、其一助ニシタイト云フ考カラ出テ居ルノデアリマス、然ルニ今盛島サンノ御質問ニアリマシタ通り、第十一號未滿ノモノヲ據置ニ致シマシタノハ、是亦特ニ沖繩地方ニ於テ重大ナ關係ヲ持ッテ居ル、糖種ニ付テノ保護ヲ考ヘタカラデゴザイマシテ、中双ト別ナ取扱ニ致シタノデゴザイマス

○盛島委員 沖繩黑糖ノ保護ヲ圖ル爲ニオ

ヤリ爲サルモノナラバ、砂糖ノ市場ノ値段カラ考ヘマシテ仲々諒解ガ出來マセヌ、ト申シマスルノハ、分蜜糖ガ下落スレバ黑糖モ之ニ依ッテ下落スル、分蜜糖ガ上レバ黑糖モソレニ從ッテ上ッテ行クト云フコトハ、是ハ市場ノ實例デアリマス、所ガ今度ノ二十二號未滿ノ砂糖ノ附加稅ヲ撤廢シテ、十一號未滿ヲ其儘ニシテ置イテモ、此十一號未滿ノ砂糖ニ付テハ決シテ保護スルコトニハナラナイト考ヘマス、現ニ沖繩ニ於キマシテハ去月ノ十六七日ニ於テ此關稅附加稅ノ撤廢サレルト云フ風評ガ立ッタケデ、此時ノ那覇市場ニ於キマシテ黑糖ノ値段ハ直チニ一圓見當下ッタノデアリマス、斯ウ云フ風ナ有様デハ政府ノ御方針ニ副フコトハ出來

ナイト考ヘマスルガ、其點ニ付キマシテハ政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ラレルノデセウカ、ソコヲ又御伺シタイノデアリマス

○太田政府委員 御質問ノヤウニ、砂糖ト

云フモノヲ一體トシテ考ヘマス、中双ノ方ノ附加稅ヲ撤廢致シマスレバ、十一號未滿ノモノニ其價格ノ關係ガ影響スルコトハ私モ諒解致シマス、又御話ノ通りノ事實モアッタヤウニ承ッテ居リマス、併シ其關係ヲ考ヘルニ致シマシテモ、此際其影響ガ、十一號未滿ノモノガ此稅法改正ノ結果ニ依ッテ非常立行カナクナルトカ、ドウニモ斯ウニモナラヌヤウナ狀況ニナルモノトハ私ハ考ヘマセヌノデ、一般的ニ砂糖ノ問題トシテ之ヲ取扱フ時ニ、中双ヲ落ス、多少ノ影響ガアルカモ知レマセヌガ、又アルコトトモ思ヒマスガ、併シ根本的ニソレガ營業自體ニ強イ打撃ヲ與ヘルト云フ意味ニハ、私共トシテ考ヘテ居リマセヌノデ、今回斯様ナ法案ヲ出シタ次第デアリマス

○盛島委員 今ノ御答辯ハ、餘リ十一號未滿ノ砂糖ニハ影響シナイト言ハレマスルガ、私ハ此點ハドウモ諒解ニ苦シミマス、併シ私ハ之ニ付テ議論ショウト云フ考ハアリマセヌ、又時間ノ關係上ヤレマセヌガ、

然ラバ沖繩ニ出來ル黑糖、白下糖ニ對スル保護ノ目的デ之ヲオヤリニナルノニ、實際ハ市價ガ非常ニ下落シテ來ル、沖繩ノ砂糖ヲ保護スルコトハ出來ナイ、沖繩縣民ハ非常ナ慘メナ結果ヲ受ケルト云フコトハ御承知ノ通りデ、之ヲ一般方策ノ上カラオヤリニナルトシマスレバ、目下ノ非常時局ニ於キマシテハ已ムヲ得ナイ次第デアリマスガ、併シ政治ト云フモノハ、國民全體ニ其恩惠ガ同様ニ均霑スルヤウナ政策ヲ採ラナケレバイケナイガラウト思フ、沖繩ガ是ダケ不便ヲ感ジテ來ルノニ、其儘放置シ、又默認スルト云フコトモ、是ハ政府トシテモ忍ビナイコトガラウト考ヘマスルガ、政府ハ之ヲ實施サレルナラバ、沖繩糖業ノ受ケル所ノ打撃ニ對シテハ、何等カノ處置ヲ以テ救済スル御考ハアリマセヌデセウカ、其邊御伺シタイノデアリマス

○太田政府委員 盛島サンノ沖繩糖ニ對ス

ル御熱誠ナル御考ハ、豫々カラ承ッテ居リマス、上ル時ニモ相當宜カッタヤウナ狀況ハ、是亦御案内ノ通りデアラウト思ヒマス、今度下ル關係ノ低イコトモ、私共ノ方ニ於テモ同情的ニ考ヘテ居リマス、從來トテモ沖繩製糖、黑糖ノ耕作者トノ關係ニ於キマシテハ、政府ガ共同苗圃デアルトカ、

或ハ共同搾取デアルトカ、搬入ノ關係ヲ考ヘマシテ、補助政策ヲ取ツテ居ッタコトモ、御案内ノ通りデアラウト思ヒマス、無論沖繩縣ノ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル此事業ガ、非常ニ惡クナルト云フヤウナ場合ヲ捨テ置クコトハ出来マセヌコトデ、御趣旨ノ程ハ篤ト諒承致シマシタガ、今回ノ關稅ノ改正ノ趣旨ハ、先程縷々申述ベタヤウナ事情デゴザイマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタク存ジ上ゲマス

○**盛島委員** 此點ハ沖繩縣民ノ生活ニ非常ナル關係ヲ持ツコトデアリマスカラ、ドウカ政府ニ於カレマシテモ、折角伸ビツ、アル此糖業ヲ、是デ萎縮サセルト云フコトハ、シテ下サラヌヤウニ願ヒタイ、黑糖、分蜜糖、即チ色相二十二號以下ノ砂糖ニ對シマシテハ、此關稅附加稅ノ撤廢ニ依ッテ生ズル、即チ三割五分ノ一圓三十八錢、又黑糖ニ付キマシテハ分蜜糖ノ値段ト、黑糖ノ値段トノ割合ヲ以テ計算シタ九十四錢、六割八分三厘ノ保持ヲ一ツ御願ヒシタイト思ヒマス、ドウカ此點ハ政府ニ於カレマシテモ特別ニ御考慮ヲ御願致シマス、尙ホ引續キ私ハ此實施期ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、實施期ハ十月一日カラト云フ風ニナッテ居リマスガ、御承知ノ通り大阪、東京ノ

商取引ハ、六ヶ月以前ニ成立スルノデアリマス、即チ本月之ヲ成立サセルナラバ、本年中ノ商取引ハ茲ニ出来上ッテ居ルノデアリマシテ、之ヲ突然改正スルト云フコトニナレバ、非常ニ商人ヤ生産者ニ於テ大打撃ヲ受ケマスコトハ當然デアリマスカラ、是ガ實施期ヲ來年ノ一月一日ト云フ風ニヤッテ貰ッテハドウデセウカ、其點御尋シタイノデアリマス

○**太田政府委員** 此三割五分稅ノ撤廢ハ、砂糖ト言ハズ、全面的ニ十月一日カラ施行スルコトニ致シマシタノハ、取引ノ實情ヲ能ク考ヘテ、斯様ナ規定ヲ設ケントスル次第デアリマス、其意味ハ御示シナリマシタ通り、砂糖ニ於テノ取引ガ隨分長ク、六箇月ニ及ブモノガアルト云フコトモ承知シテ居リマス、其他ノ取引ニモ相當長イモノガアルヤウニ承知シテ居リマス、關稅ヲ動かシマス云フト、當業者ニ當然影響ガアルコトハ私共モ考ヘテ居リマスガ、サリトテソレヲ一々全面的ニ考慮シテ、法律ヲ作ッテ行クト云フコトハ、斯ウ云フ業態ノ性質上、中々ムヅカシイコトデアリマス、隨テ今マデハドウ云フヤウニシタカト云フト、大體法律ガ出ルト、直グ行フコトニナッテ居リマスケレドモ、普通ノ議會ノ場合デゴ

ザイマスト、一月ニ法案ガ出ルト假定致シマスレバ、二箇月ノ審議ヲ御願致シマシテ、サウシテ四月頃ニナッテ出ル、先ヅ大體ニ於テ二箇月位ノ餘裕ガアルノデゴザイマスカラ、其間ニ當業者ガ然ルベク處理モ出來得ルコトニナル慣例ニナッテ居リマス、其意味ニ於テ今回ハ特別議會デアリマスカラ、會期モ少イ爲ニ普通議會ニ於ケルヤウナ二箇月ト云フヤウナ裕リガアリマセヌ爲ニ、是デ議會ガ終ッテ、直グ斯ウスルト云フコトニナリマスト、當業者ニ普通議會ニ於ケル場合ヨリモ、強イ打撃ヲ與ヘルノデアリマスカラ、如何ニ物價問題ノ爲ニ大切トハ言ヒナガラ、先程私ガ申上ゲマシタ生産者ノ立前モ、亦考ヘナケレバナリマセヌノデ、普通ノ場合ノ例ニ依ッテ、茲ニ二箇月ノ猶豫期間ヲ設ケ、即チ十月一日カラ之ヲ施行スルヤウニシタイト考ヘタノデアリマス、法律ノ形カラ申シマシタナラバ、他ノ附加稅以外ノモノヲ何故直グ行フコトニスルカト、斯ウ申シマスルト云フト、三割五分以外ノモノハ、既ニ此前ノ議會ニ出テ居リマシテ、實質的ニ此問題ハ當業者ノ間ニ御知リニナッテ居ルコトデゴザイマシテ、又今回更ニ出サレルト云フコトモ、知レテ居ルコトデアリマスカラ、此方面ニ付テハ、

ソレダケノ餘裕ヲ設ケルノ必要ガナイト考ヘマシテ、新ニ設ケントスル此三割五分撤廢ノ規定ニ關シテ、十月一日カラ施行期ヲヤッテ行カウト、斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○**盛島委員** 政府ノ御説明ニ付キマシテハ、満足ハ出来マセヌガ、此問題ニ付テハ私ハ此位デ質問ヲ打切りタイト思ヒマス、唯打切ニ付キマシテ先刻モ申上ゲマシタ沖繩ノ黑糖、白下糖ノ被ムル打撃、ソレニ對スル對策ヲ講ジテ戴キマシテ、沖繩糖業ノ發展ヲ圖ラレルト共ニ、縣民ノ生活ヲ安定サセテ戴キタイ、唯是ダケノ希望ヲ以テ、

時節柄本案ニ賛成シヨウト思ヒマス

○**松浦委員** 一寸今ノ砂糖ノ問題ニ關連シテ御聞シタイノデス

○**山道委員長** 簡單ニ願ヒマス——松浦君

○**松浦委員** 砂糖ノ免稅ノ問題ニ付キマシテ、北海道ノ拓殖計畫ノ問題ニ關聯スルヤウニ思フノデアリマスガ……

○**山道委員長** 松浦君一寸、地方局長ガ來テ居ラレマスカラ、アナタノ保留セラレテ居リマシタノラドウカ御一緒ニ願ヒマス

○**松浦委員** 砂糖ノ免稅ニ付テ、北海道ノ拓殖計畫ノ砂糖ノ問題ニ付キマシテ、政府ガ助成ヲシテ、サウシテ此工場ヲ計畫シテ居リマス、一個工場一箇年百二十五萬圓デア

リマスカ、此助成ニ對シマス斯ウ云フ方面ニ影響ガアツテ、此砂糖ノ業態ガ面白クナクナルト云フコトハ、一面カラ考ヘレバ、一ツノ資本家ガ倒レルト云フコトニ簡單ニ片付ケラレマスケレドモ、北海道拓殖計畫ノ立

前ガ、此糖業ガ或ル一役ヲ買ッテ居ルノデアリマシテ、是ガ若シ其業態ガ面白クナルト云フコトニナルト、政府ノ立テタ計畫ガヲカシクナルヤウニ思フノデアリマス、之ニ付テ大藏當局ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラシヤルカ、御聞シタイ、其砂糖ノ問題ダケヲ先ニ御聞シタイ

○大矢政府委員 此度砂糖ノ三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢スルニ付キマシテハ、我國ノ工業界ノ現狀、世界ノ砂糖市場ノ狀況、消費者ノ立場、各種ノ方面カラ考ヘマシテ、此際ニ三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢スルノガ、最モ時宜ニ適シタコトデアルト斯ウ信ジテ提案シタ次第デゴザイマス、先程太田政務次官カラ申サレマシタ通り、近時國內的ニモ、國際的ニモ、糖業界ノ狀況ガ好轉シテ參ッタノデアリマシテ、此數月來糖價ガ相當高クナツテ來テ居リマス、隨ヒマシテ此附加關稅ヲ撤廢シテモ、現在ノ我國ノ砂糖産業ニ對シマシテハ臺灣ニ於テハ勿論、先程御話ノアリマシタ沖繩ノ砂糖、白下糖ノ

關係ニ於キマシテ、又北海道ノ關係ニ於キマシテモ、著シク打撃ヲ與ヘテ將來ノ糖業ヲ進メテ行ク上ニ支障ヲ來スト云フコトハ、今ノ所デハ考ヘラレナイ、此程度ノモノハ大シテ非常ナ惡影響ヲ與ヘルモノデハナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松浦委員 今ノ政府委員ノ御答辯ハ、前途ノコトヲ分ル筈ガナイト思ヒマスガ、問題ニナリマス、現在ノ狀態ハソコ迄行ッテ居ナイ、大體起ル問題ハ製糖業者——北海道ノ大會社ノ前途ヲ私ハ考ヘル者デハナイ、此會社ノ營業狀態ガ思ハシクナクナルト云フコトニナレバ、隨テ農村カラ買上ゲル所ノ「ビート」ノ價格ニ影響スルト云フコトハ、必然的ノ問題ダト思ヒマス、現ニ百斤五錢五厘デ買上ヲサレテ居ッテ、所ガソレデハ農村ノ收支ガ合ハナイト云フコトカラ、道農會、道廳其他ガ中ニ入ッテ、値上交渉ヲ現在致シテ居リマス、サウシテ農村ノ要求スル七錢乃至七錢五厘ニシテ貰ヒタイ、斯ウ要求シテ居リマスケレドモ、會社ノ方デハソレニ應ジナイ、現在デモ應ジナイモノガ、三割五分ノ關稅ヲ撤廢シタト云フ事實ガソコニ現ハレルナラバ、ソレヲ口實ニシテ元ノ五錢五厘デヤッテ行カウト云

フ考ニナルデアリマセウ、一昨年アタリノ物價ノ餘リ高クナラヌ内デモ、五錢五厘ヤ六錢デハ引合ハナイト云フモノガ、今日ノ物價騰貴ノ場合ニ於テ到底引合フモノデハナイ、サウ云フ場合ニ大藏省ガ中ニ入ッテ、サウシテ業者ト農村側ノ仲介ヲ取ッテ、農村側ノ要求スル七錢五厘ニスルト云フ責任ヲ持ッテ戴ケルカドウカ、御聞シタイ

○大矢政府委員 前ニ申述ベマシタ通り、此度三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢シテモ、我國ノ糖業界全體ヲ通ジマシテ著シイ惡影響ガナイモノト信ジテ居リマス、遠キ將來ニ互フテ、然ラバドウカト申上ゲマス、或ハ相當考慮シナケレバナラヌヤウナ場合モ、絶無トハ申セナイガラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ何等カノ方法ニ於テ、考慮シテ然ルベキダト思ヒマス、從來ト雖モ北海道ニ付キマシテハ、臺灣ナドト異ナツタ見地ニ立ッテ、相當ノ施設ハシテ居ルノデゴザイマス、其點ハ大藏省ニ於テハ分ッテ居リマス、將來若シモ必要ガアツタ場合ニハ、考慮ス積リデアリマス

○松浦委員 糖業ト北海道ノ拓殖計畫ニ付キマシテハ、至大ノ關係ヲ持ッテ居リマスノデ、特ニ其點御留意下サイマシテ、北海道ノ開拓ノ爲ニ、十分ノ御力添ヘアランコトヲ希望致シマス——一昨日ノ質問ノ續ヲ致シタイト思ヒマスガ、其前ニ一寸大藏省ニ伺ヒタイ……

○山道委員長 松浦サン、實ハ一昨日アナタニ相當長時間御發言ヲ御許シタノデス、最後ニ內務省ノ關係ノコトニ付テ、留保ト云フコトニナツテ居ルヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデス、併シ御關聯ノコトデモアリマスカラ、御許シマシタノデスカラ、ドウカ其御積リデ成ベク簡單ニ願ヒマス、他ニ澤山通告ガアリマスカラ……

○松浦委員 簡單ニ致シマス、七十議會ニ於テ紅松ノ關稅ノ問題ニ付キマシテ、決議案ガ出テ居ルヤウデアリマス、其決議案ノ第三ヲ見マス「紅松輸入稅ニ付昭和十三年度ヨリ之ガ免稅ニ付キ考慮スベシ」ト云フ決議案ノヤウデアリマス、此七十議會ニ於テハ、特別議會ガアルト云フコトヲ豫想シテ居ナイ時デアリマス、然ラバ政府ハ「パルブレ」關稅ノ問題ヲ提案スルト同時ニ、紅松ノ問題ヲモ此處ニ加フベキデアッタト思ヒマスガ、民意ヲ尊重セラレル議會ニ於キマシテ、ドウシテ斯ウ云フ片手落ノコトニナリマシタカ、政務次官殿ノ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、內務省ノ方ニ御聞キシタイコトハ、一昨日來私ハ我國ノ木材資源

トヲ希望致シマス——一昨日ノ質問ノ續ヲ致シタイト思ヒマスガ、其前ニ一寸大藏省ニ伺ヒタイ……

トヲ希望致シマス——一昨日ノ質問ノ續ヲ致シタイト思ヒマスガ、其前ニ一寸大藏省ニ伺ヒタイ……

ノ問題ニ付キマシテ、色々ト御尋致シマシタノデスガ、「バルブ」ノ資源竝ニ針葉樹ノ箱材、「ベニヤ」「チエスト」原料、或ハ紅松、斯ウ云フヤウナ木材資源、森林資源ノ問題ニ付テ「ゴザイ」マスガ、現在ノ輸出ノ狀況ヲ見マス、非常ニ大キナ數字ガ國際收支ノ上ニ現ハレテ居リマス、所ガ内ヲ顧ミマスト、サウ云フ資源ガ我國ニアルカナイカト云フコトガ問題デ「ゴザイ」マス、現ニ企畫廳ニ於キマシテモ、國內資源ノ再檢討ヲ行ッテ、サウシテ國內ニ於テ重要工業ノ原料ヲ供給スルコトガ可能ナラバ、其方向ニ向フベシト云フコトモ、申サレテ居ルヤウデ「ゴザイ」マスガ、私ノ研究ニ依リマス「バルブ」ノ資材竝ニ輸出包裝箱材ノ資材、斯ウ云フ物ガ主トシテ亞寒帶地方ノ「エゾマツ」「トドマツ」ヲ以テ供給セラレテ居「タ」ノデアリマス、所ガ最近ニ於テ樺太ノ輸出ガ非常ニ激減致シマシテ、昭和四年ニ一千三百萬石輸出シテ居「タ」モノガ、現在ハ二百萬石ヲ出ナイ、斯ウ云フ結果ニナ「テ」、内地ニ於ケル所ノ是等原料ニスル工場ノ打撃ト云フモノハ、非常ナモノデアリマス、現ニ或ル地方——東京地方ノ現狀ヲ調べテ見マス、當時ハ二百八十ノ工場ガ六千五百人ノ人ヲ使ッテ居「タ」、現在ハ百ノ工場ガ僅ニ二千五

百人シカ使ッテ居ラス、アトノ四千八人ト云フモノハ、失業ノ狀態デアルト云フヤウナ狀態デア、一方ノ「インフレ」景氣ヲ眺メタナラバ、木材ニ關係スル工場ハ非常ニ悲運ノ狀況ニアルト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘルト云フト、然ラバ是等ノ一方ニ於テ國際收支ノ上ニ非常ニ影響シテ居リマス所ノ「バルブ」ノ資材トナル原料、竝ニ函材生産業者、或ハ製材業者ノ原料ト云フモノガ、日本ノ亞寒帶地方ニアルカナイカト云フコトヲ、檢討スル必要ガ生ジテ來ルト思ヒマス、此間樺太廳ノ方面ニ御聽キ致シマシタガ、今日ハ北海道廳ノ管轄ニ付テ御聽キシタイト思ヒマス、現在北海道廳ノ國有林ハ三百五十萬町歩アリマス、其中ノ針葉樹ノ蓄積ハ、約六億萬石ト稱セラレテ居リマス、三百五十萬町歩ノ中ノ約二百萬町歩ハ、利用可能地域ト見ラレテ居リマシテ、其中ニ蓄積サレテ居ルモノガ、約四億四千萬石ト見ラレテ居リマス、保安林、風致林其他ノモノガ約八十萬町歩、此中ニ約一億萬石ノ蓄積ヲ有シテ居リマス、其他施業案ノ未編成ノ部分ガ約七十萬町歩「ゴザイ」マス、是ガ六千萬石ノ蓄積ヲ有シテ居リマス、所ガ是等ノモノカラ實際ニ伐採セラレテ居ルモノハ、何ボアルカト

言フト、最近マデハ約四百萬石「ゴザイ」マシタガ、昨年ハ五百萬石ヲ伐採致シテ居リマス、所ガ帝國大學ハ北海道ニ演習林ヲ持チ、又北海道ノ大學ノ演習林ノ、北海道ニ於ケル一年ノ天然林ノ成長量ハ、何ボアルカト申シマス、約三・五%アルト云ッテ居リマス、若シ三・五%アルナラバ、六億萬石ノ蓄積ニ對シテハ二千百萬石ノ伐採量ガアルト云フコトニナル、併シ是ハ全體ノ數字デアリマシテ、之ヲ實際上ニ於テ檢討致シテ見マス、ト云フト、假ニ二百萬町歩ノ利用可能地域——現在ノ施業案ヲ立テ、居リマス所ノ地域ニ、四千四百萬石アルト假定致シマスナラバ、之ニ大學ノ試驗場ヲ調べタ三・五%ノ成長力ヲ、安全率ヲ見マシテ二%ノ成長力ガアルト致シマシテモ、八百八十萬石ヲ伐採スルコトガ出來ルト思ヒマス、所ガ此施業案ヲ編成シテナイ部分、或ハ千島ノ樺提、國後、斯ウ云フヤウナ方面、其他ノ施業案ヲ現在編成シテナイ所ノ約八十萬町歩ノモノニ對シテハ、六千萬石ノ蓄積ガアル、是等ハ施業案ヲ是カラ立テルト云フコトデアリマスカラ、約二%ト見マシテモ、百六十萬石ヲ伐採スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ見マス、ト云フト、約一千万石ノモノハ北海道ヲ探ルコトガ出來ル、今

五百萬石伐ッテ居リマスカラ、約五百萬石ノ増伐ガ出來ルト云フ結論ニナリマス、五百萬石ノ「バルブ」資材ヲ茲ニ得ルト云フコトニナリマスナラバ、一年ニ約十五萬噸ノ人絹「バルブ」ヲ供給スルコトガ可能ニナルデハアリマスマイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルト云フト、徒ニ外國カラ「バルブ」ヲ買入レテ、サウシテ金ガ外國ニドソノ出ルノデ、國際收支ノ問題デ大藏省ハ非常ニ惱シデ居ル時ニ、斯ウ云フヤウナ天然資源ガ國內ニ存シテ居ルト云フ事實ガアルナラバ、宜シク國際收支ノ均衡ヲ保ツ、或ハ生産力ヲ擴充スル、或ハ物資ノ需給ノ調節ヲ圖ルト云フ此三大原則ニ於テモ、此問題ニ付テハ十分ニ考慮シナケレバナラスト思ヒマス、所ガ今之ヲ伐採スレバ、アト北海道ノ林力ガ非常ニ衰ヘテ、困ルデハナイカト云フ御議論ガ「ゴザイ」マセウ、是ハ勿論アルコト、思ヒマス、併ナガラ今北海道ノ森林ニ就キマシテ、其内容ヲ檢討シテ見マス、ト云フト、大體ニ於テ樺採取林業デア、森林收入ト云フモノハ殆ド還元サレテ居ナイ、實際ニ投入サレテ居ル費用ト云フモノハ、何「バ」セント「ゴザイ」マス、非常ニ小部分ノモノダト思ヒマス、今日マデノ狀況ニ於テ、行政上ニ必要ナ經費ハ必要デ「ゴザイ」マセウ

カラ、今後増伐スル所ノ收入ハ、悉ク森林ニ還元シテ、現ニ百六十萬町歩ノ無立木地ガアル、之ニ對シテ是等ノ過熟老齡樹、瀕死木ヲ、或ハ施業案ヲ編成シテナイ所デモ道ヲ開イテ、サウシテ之ヲ市場ニ出シ、其收入ヲ以テ百六十萬町歩ノ立木地ニ「エゾ」トシテ所謂「バルプ」資材ヲ植林致シマスナラバ、二十年ノ後ニハ百六十萬町歩カラハ、假ニ一町歩當リ二十石ト致シマシテモ、三千二百萬石ノ供給ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フコトニ著目シテ、内務省ノ地方局、北海道廳ニハ之ヲ遂行スル御考ガアルカドウカ、所謂林政ノ根本改革ヲ爲ス考ガアルカドウカ、大藏省ニ於キマシテハ斯ウシタ天然資源ガアルノニ、今日ノ場合ニ於テ之ヲ放置シテ置クト云フコトハ、寶ヲ死藏スルコトニナル、山ハ鐵デアル、石油デアル、鑛山デアル、今日ハ非常時デアル、其山ニ其儘——過熟老齡樹トシテ今倒レントシテ居ル所ノモノヲ、市場ニ出シテヤルト云フコトハ「バルプ」ヲ造リ人絹織物ヲ以テ外國ニ輸出シ、其金ヲ以テ鐵ヲ買ヒ石炭ヲ買ヒ或ハ鑛山ノ準備モ出來ルデアリマセウ、之ヲ以テ大藏當局ノ御答辯ヲ伺フト共ニ、地方局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○坂政府委員 段々數字ヲ擧ゲテ御質問デアリマシタ、手許ニ其數字ノ調ヲ持ッテ居リマセヌノデ、或ハ御不満足デアラウカト思ヒマスガ、御意見ノ根本ニ付キマシテハ、吾々決シテ異存ガアル譯デハナイノデアリマス、唯現在北海道デヤッテ居リマス 斫伐ノ計畫デアリマスガ、是ハ申スマデモナク施業案ヨリ斫伐ノ計畫ヲ除キマシテ、相當ノ數量ヲ伐採シテ居ルノデアリマス、之ニ非常ニ多クノ餘力ガアルヤウニモ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ、併シ尙ホ此點ニ付キマシテハ篤ト調査ヲ致シマシタナラバ、或ハモット増大ノ餘力ヲ發見スルカモ知レナイノデアリマス、其點ハ十分ニ研究ヲ盡シタイト考ヘル次第デアリマス、造林ニ付キマシテ甚ダ不十分デアル、斯ウ云フ御尋デアリマシタ、是モ御尤ニ思フノデアリマシタ、最近ニ於キマシテハ成ベク此造林面積ヲ増加スルコトニ努メテ居リマシテ、昭和十二年度ニ於キマシテハ、新ニ造林致シマス面積ハ約七千萬町歩デアリマス、前年度、前々年度ニ較ベマシテモ、遙ニ大キナ數量ニナリ、其經費モ百十三萬圓餘リヲ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯ソレガ全體ノ森林收入ノ中ノ餘リ大キナ部分ニナッテ居ラス、モウ少シ其方面ニ割イテモ宜

イデハナイカト云フ御議論デゴザイマシタ、大體ノ見當ニ於キマシテモ、百十三萬圓ハ森林收入ノ一割餘デアリマスガ、尙ホ之ニ付キマシテ考究ノ餘地ガアルト致シマスナラバ、尙ホ研究ヲ進メタイト思フ次第デアリマス、大體右様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○太田政府委員 紅松ノ關稅免除ニ關シマシテハ、一昨日大藏大臣カラモ御話ガアリ、又農林政務次官カラモ御話ガアッタ通りデアリマス、今ノ御質問ノ趣意ヲ内々御相談申上ゲマシタ所ガ、内地ニ於ケル林政トノ關係ヲ研究スル必要モアルト云フ意味ニ於キマシテ、農林省ニ於テ篤ト考究スルトノコトデゴザイマス、又其節モ申上ゲマシタ通り、滿洲トノ關係ニ付キマシテハ、關稅ニ付テ全面的ノ研究ヲ要スル點ガアリマスノデ、其點モ更ニ附加ヘテ申上ゲテ置ク次第デアリマス、尙ホ森林資源ト國際收支ノ關係ニ付キマシテハ、同感ニ思フ點モ少クナイノデゴザイマシテ、篤ト御意見ノ程ヲ、參照シテ行キタイト思フノデアリマス

○松浦委員 内務省ノ局長サンノ御話ハ、一割ノ植栽ヲシテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、成程森林收入カラ見レバ、ソシナ

コトニナルノデゴザイマセウ、日本ノ國デ比較スルト云フコトニナルト、北海道ト同ジヤウナ所ガゴザイマセヌカラ比較スルコトモ出來マスマイガ、大體北歐ノ瑞典、丁抹或ハ獨逸ノ狀況ヲ見ルト、森林國トシテ立ッテ居ル所以ハ何デアアルカト云フニ、過熟老齡樹ヲドン／＼伐採スルト同時ニ、其收入ノ六〇％ヲ山ニ還元シテ居ル、是ガ今日森林資源國トシテ世界ニ立チ、我國ニ「バルプ」ヲ供給スル所以デハナイカ、我國ノ特色ハ何カ、工業上色々アリマセウガ、大體ニ於テ纖維工業ガ特色デアルト言ッテモ過言デハナイ、所ガ資源ガ日本ニハナイ、其爲ニ態、瑞典ヤ亞米利加カラ買ッテ來ナケレバナラス、斯ウ云フ不便ヲ當局ノ方ガ御考ニナルナラバ、此際林政ノ根本改革ヲ爲シテ、過熟老齡樹ヲ整理スルト共ニ、其收入ヲ悉ク造林ニ向ケ、サウシテ將來我國ノ特有性ヲシテ益、伸バシテ行ク、斯ウ云フ方面ニ十分御留意ニナッテ、一方ニ於テ林政ノ改革ヲスルト共ニ、一方ニ於テハ其收入ヲ以テ無立木地ノ造林ヲ爲スト云フコトニ留意アラント切望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○山道委員長 今上田君ノ順位ヲ青山君ニ御譲リニナルト云フコトデゴザイマシタ

ガ、青山君が御見エニナリマセヌカラ、笠井君ニ許シマス

○笠井委員 前議會ニ於テモ今議會ニ於テモ、今回ノ關稅案ニ關スル重大問題トシテ考慮サレタモノハ、所謂鑛油デアルトカ、自動車デアルトカ、是等ノ問題ニ付キマシテハ既ニ十分論議サレテ居ルト思ヒマスカラ、私ハ簡單ニ鑛油及自動車ノ問題ニ觸レテ、サウシテ前議會ニ於テ出デ居リマセヌデシタ新聞紙ノ輸入ニ關スル關稅ヲ無稅ニスルト云フコトニ付キマシテ、御質問申上ガデミタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ鑛油ノ問題ニ付キマシテ伺ヒマス、昨日モ相當論議サレテ居リマシタガ、要ハ政府ガ此案ヲ「ガソリン」デアルトカ、ソレ等ノモノニ對スル増稅ヲスルト云フコトノ原因ハ、帝國燃料株式會社ノ將來ノ發達ト云フ所ニ、根本ヲ置イテアルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ既ニ論議サレテ居ルヤウニ、八億乃至十億ノ金ヲ將來十年間ニ投ジテ、サウシテ最後ニ於テ「ガソリン」百萬觔、重油百萬觔ヲ目標トシテ居ルガ、是等ハ唯理論的ニ終ッテシマッテ、實際的ニハ何等ノ效果ガナイト思フ、現在ニ於テハ非常ニ危急ナ場合デアルカラ、先ヅ「私ハ此關稅ヲ上ゲルト云フコトハ、ドウデアルカト云フ

コトヲ考ヘテミタイト思フ、御承知ノヤウニ一昨々年デアリマシタカ、滿洲國ガ油ノ統制ヲヤリマシタ、外會ノ會社「ノスタンダードオイル」「テキサスオイル」「ライジン」「グサン」ト云フヤウナモノヲ、悉ク追拂ッテ形デアリマス、滿洲國政府ノ當時ノ當局ハ何ト云フタカ、國家有事ノ場合ニ於テ斯ウ云フ風ナ重要ナ、日本ニナイ資源ヲ唯外國人ニノミ滿洲ニ於テ「コントロール」サレテ居ルト云フコトハ遺憾デアルカラ、滿洲國デヤラウ、斯ウ云フコトデアリマス、所ガ吾々ガ其當時ニ於テ恐レテ居ッタコトハ、其結果トシテ一ハ日本ノ現存會社、例ヘバ日本石油デアルトカ、サウ云フ風ナ會社ヲ利益スルノミデアッテ、其株主ニ利益ヲ與ヘ、第二ハ消費者タル所ノ滿洲三千萬民衆ガ高い値段ニ苦シムデアラウト云フコトヲ憂ヘテ居ッタ、所ガ吾々ノ憂ガ杞憂デアルコトヲ希望シテ居ッタガ、事實ハ現實トナッテ現レテ來タ、昨日坂下君ガ申サレタヤウニ、日石ノ如キ會社ハ從來配當モ少ク、不良會社デアッタモノガ、今日ハ株ガ百圓モシテ居ルト云フ狀態デアル、政府ハ此點ニ於テ考慮シテ戴キタイ、一昨日ノ大藏政務次官ノ御答辯ニ於テ、英吉利ニ於テハ一九〇%モ「ガソリン」ニ課稅シテ居ル云々ト云フ

コトヲ仰シヤッタガ、是等ノ國ハ油ノ資源ヲ持ッテ居ル國デアリマスカラシテ、要スルニ外國ノ製品ト云フモノガ自國ニ入ッテ來ルト云フコトヲ防止センガ爲ニヤッテ居ルノデアル、遺憾ナガラ今日最モ燃料ノ大切ナル我國ニ於テハ、其資源ガナイノデ困ッテ居ルノデアルカラ、斯様ナル内外ノ情勢ニ鑑ミテ、私ハ油ニ課稅ヲスルト云フコトハ間違ッテ居ルコト、思フ、例ヘバ今將ニ戰端ヲ開カントシテ居リマスガ、之ヲ研究シテ見ルト、海軍ニ於テ我ガ全艦隊ガ出動ヲ始メルト云フコトニナルト、恐ラクハ瀬戸内海ノ島ノ中ニ藏ッテアル油ハ六箇月シカ保タヌデアラウ、斯様ナ憐レナル狀態ニ於テ、獨リ重油ノミナラズ「ガソリン」ニ迄課稅スルト云フコトハドンナモノデアラウカ、此點ニ付テ大藏政務次官ニ御伺致シマス

ト云フ意味デ、斯様ナ政策ヲ取ッタ譯デゴザイマシテ、實ハ私共モ常ニ關稅ノ保護ト云フノハ、丁度好イ潮時ニ乗ッテヤラナイト何ノ役ニモ立タヌ場合モアリ、又何等效果ノナイ場合モアリマス、御趣意ノ程ハ少し早過ギルヂヤナイカト云フヤウナ意味ニモ解釋サレマスガ、今ノ燃料政策ノ立前カラ言ッテ、此際斯様ナ關稅政策ヲ以テ保護シテ行ッテ、人造石油業ノ發達ヲ圖ルコトハ、最モ適當ナ時期トシテ提案シタ次第デアリマス、國防上ノ關係ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ私カラ申上ゲルコトデナク、又現實ニハ色々作戦ナドノコトニモ關係シテ居ルト思ヒマスガ、吾々ノ知ル範圍ニ於テサウ云フコトノ心配ナク、別ノ意味ニ於テ此案ガ出テ居ルコトヲ御諒承願ヒタイト存ジマス

○太田政府委員 關稅ト云フモノハ、申上ゲルマデモナク生産者ニ對スル關稅ト、消費者ニ對スル關稅トゴザイマスガ、御案内ノ通り其時ヲ誤リマス、消費者ニ多大ノ犧牲ヲ拂ハセルコトニナルノデアリマス、併シ茲ニ問題トナッテ居ル燃料ニ付キマシテハ、一昨日モ燃料長官カラ詳シク述べラレタ通り、今ガ保護スル大切ノ時期デア

○笠井委員 大藏政務次官ニ、モウ少し立入ッテ御尋シタイコトモアリマスケレドモ、論議ヲシテモ盡キマセヌカラ、私ハ今度ハ自動車ノコトニ付テ一寸伺ヒタイト思ヒマス、自動車ノコトハ既ニ自動車業者ノ専門家カラモ、昨日一昨日ニ互ッテ御話ガアッタヤウデアリマスガ、業者ノ話ヲ聞イテ居リマスト云フト、自動車ニ關稅ヲ課スルト云フコトハ、東京市ニアル一萬乃至一萬五千

ノ「タクシー・ドライバース」、サウ云フ自動車ヲ持テ居ル人ニノミ、當面ノ影響ガアルト云フ風ニ論議サレテ居ルヤウデアリマスガ、私自身ハ自動車業者デモ何デモナイ、唯一般ノ見地カラ、モウ少シ廣ク見テ宜カラウト思ヒマス、ソコデ自動車ノ「バーツ」ニ關稅ヲ課スルトカ、或ハ現行關稅ノ増率ヲスルトカ云フコトデアリマスガ、是等ハ一昨日來論議セラレタ方ト、殆ド意見ヲ同ジウスルモノデアリマス、ソレデ昨年ノ春自動車法案ト云フモノガ通過致シマシタガ、私モ其委員ノ一人デアリマシタノデ、其時ニ私ハ陸軍省ノ關係ノ方ニ、サウ云フ風ナ法案ヲ出シテ、一體全體ドレダケノ自動車ヲ造ルノデスカト云フコトヲ伺ッテ見マシタ所、イヤソレハ來ルベキ十年間ニ於テ十萬臺ノ自動車ヲ、我國ニ於テ生産スルコトヲ希望スルノダ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレマシタガ、私ハ寧ロソレハ笑止千萬デアルト云フ風ニ考ヘマシタ、今日ノ場合ニ於テハ一年ニ十萬臺位モ必要ナ時ニ、自動車法案ヲ出シテ、サウシテ十年ニ十萬臺デアリマスカラ一年ニ一萬臺ノ目標デアリマスケレドモ、十年掛ッテ十萬臺、一年ニ一萬臺位シカ出來ナイト云フヤウナコトデハ困ルト思ッテ居リマス、其際ニ豐田トカ或

ハ日産トカ云フモノガ、一昨日ノ御話ニ依ッテモ、先ヅ全精力ヲ傾倒致シマシテモ、一年ニ僅ニ一千臺位シカ出來ナイ、合計二千臺位シカ出來ナイト云フコトヲ見マシテモ、此法案ヲ茲ニ出シテ、サウシテ高イ稅率ヲ課ケルト云フコトハ、是ハナッテ居ナイコトデハナイカト私ハ思フ、實ニ私ハ昨年六月ニ列國議會同盟會議ニ行ク途中西伯利ヲ通ッテ見テ非常ニ驚歎致シマシタコトハ、毎日々々殆ド二列車、三列車、少クトモ一列車二百臺、三百臺ノ非常ニ大キナ自動車ヲ積ンデ、サウシテ極東ニ行キマシタ、アレヲ見マシテモ露西亞ノ極東ニ於ケル自動車ニ依ル防備ト云フモノハ、非常ナモノデアルト云フコトヲ痛感致シマシタ、尙ホ昨年ノ十二月ニ天津カラ南京ニ行ク途中、アノ津浦線ニ乗テ見ルト、アノ津浦線ノ沿線ノ徐州ナドニ於テモ、非常ニ大キナ亞米利加ノ「トラック」ヲ二十臺、三十臺、五十臺モ積ンデ、サウシテ右往左往汽車ガ駛ッテ居ル、恐ラク今日ノ狀況ヲ見タナラバ、支那ノ軍備モ彼等ハ相當自信ガアルダラウト思ッテ居リマス、翻ッテ我國ノ情勢ヲ見マスト、先ヅ最近各方面ニ於テ「トラック」ヲ徵發サレテ居リマスガ、マダ戰爭ガ始マルカ始マラナイカト云フヤウナ際ニ、兎ニ角我

國産業ニ或ル種ノ影響ヲ及ボス迄ニ、民間ノ「トラック」ヲ徵發シナケレバナラヌト云フ現狀ヲ見マス、痛嘆ノ至リニ堪ヘマセヌ、固ヨリ歐洲戰爭ノ際ニ、巴里ガ今ヤ危難ニ陥ラントスル時ニ、巴里ノ「タクシー・ドライバース」ヲ全部集メテ戰線ニ向ケタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フ風ナ我國ノ一般自動車工業ノ幼稚ナル際ニ、而モ國家全體ニアル「トラック」ヲ徵發シタ所デ、僅カシカナイ場合ニ於テ、斯ウ云フ風ナ關稅ヲ課スルト云フコトハ、政府ノ不明ノ致ス所デハナイカト私ハ思フ、如何トナレバ丁度自動車工業ニ付テハ、獨逸ト我國ハ同ジ狀態ニアル、獨逸ハ自動車工業ヲ最近マデ持ッテ居リマセヌ、所デドウシテモ最近國防上必要デアルト云フコトヲ痛感シテ、サウシテ亞米利加ノ「フォード」會社ト提携致シマシテ、亞米利加ノ「フォード」ノ「タイプ」ヲ最近獨逸ニ於テドン／＼造ルヤウニナッテ來マシタ、其結果ドウ云フ風ニシタカト云ヘバ、外國カラ入ッテ來ル自動車ニ對シテハ從來ノ通り關稅ヲ課シテ居ル、但シ獨逸國內ニ於テ生産スル自動車ト云フモノハ無稅デアル、斯ウ云フコトヲシテ居リマス、ソレデ吾々ガ東京市ニ於テ見マスナラバ、先ヅ「ビウィック」自體ニ對

スル東京市ノ市稅ガ六百圓モ課カッテ居ル、普通ノ自動車ニ付テハ三百圓モ市稅ヲ課ケルト云フコトデアラナラバ、先ヅサウ云フ風ナモノヲ考慮セラレテ——一昨日モ此事ニ付テ內務省ノ當局ノ方ノ御返事モアッタヤウデアリマスガ、考慮セラレテ、寧ロ將ニ發達ノ途上ニアル我國ニ於テハ、斯ウ云フ風ナ最近政府ガ提出セラレテ居ル所ノ此案ハ撤回セラレテ、現行ノ關稅率デ行ッタラドウデアラウカト思ッテ居リマス、此點ニ付テ商工當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小島政府委員 只今ノ笠井委員カラノ國防上竝ニ一般産業經濟上自動車ト云フモノガ極メテ重要ナルコト、又ソレニ對スル施設方針ト云フモノニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒマシタ、能ク拜承シタノデアリマスガ、自動車工業ト云フモノハドウシテモ産業上、國防上我國ニ於テ之ヲ確立スルコトガ、必要ニナッテ參リマシタ、其自動車工業ノ確立ト云フコトハ、結局シマスルニ我國ニ於テ部分品工業ヲ起シテ之ヲ組立テル、即チ部分品工業ト組立工業ノ兩方面カラ之ヲ考ヘル必要ガアラウト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、既ニ自動車ニ關シマスル國策ガ定マリマシテ、自動車製造事業法

ノ制定ヲ見タ次第アリマス、是ガ運用ニ付キマシテモ、私共トシマシテハ許可ヲ受ケマシタ國產自動車會社ニ付キマシテ、十分之ヲ指導シ督勵シマシテ、其設備ノ擴張、又技術ノ發達ト云フコトニ、出來得ル限り努力ヲ致シテ參ッタノデアリマス、最近ニ於キマシテハ其技術モ相當進ミマシテ、自動車ノ機能等ニ於キマシテモ可ナリ改善サレマシテ、外國品ニ對シテモ性能上、サウ大シテ差異モナイト云フヤウニ見ラレル狀態ニ立至ッタノデアリマス、而シテ其製造能力ノ點デゴザイマスガ、是ハ御承知ノヤウニ、日産ノ工場ガ漸ク此五月カラ其作業ニ入りマシテ其車ヲ市場ニ出シ始メタト云フヤウナ事情ノ關係モアリマシテ、此六月マデノ間ニ於キマシテハ、所謂小型車——是ハ「ダットサン」タケデモ四千臺ヲ出シテ居リマスルガ、之ヲ除キマシテ所謂大衆車ニ於テハ、約二千五百臺以上ヲ製造シタノデアリマス、而シテ昨今ノ情勢ニ鑑ミマシテ、許可會社ニ對シマシテハ其能率ヲ増大シマスルヤウニ、一層指導致シテ居リマシテ、今月アタリニ於キマシテハ可ナリノ製造臺數ヲ見ルト思フノデアリマス、今後ニ於ケル此製造臺數ノ見込數量ト云フコトニ付キマシテハ、此際之ヲ數字のニ申上

ゲルコトヲ差控ヘタイト存ジマスルガ、今年ノ暮アタリニナリマスナラバ、大體豫期ノ計畫ニ近い製造能力ヲ舉ゲルコトガ出來ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、而シテ此自動車ニ關シマスル關稅ノ改正ハ、我國ノ自動車工業ノ確立ニ關シマシテ、ドウシテモ此程度ノ關稅ノ改正ヲ致スコトガ必要ト考ヘテ居リマス、從來國定稅率ハ從價五割ヲ標準トシテ課稅セラレテ居リマシタガ、日佛協定ノ關係上、其實ガ伴ハナイデ、實際上ハ三割五分シカ課稅セラレテ居ナイノデアリマシテ、之ヲ實際上モ國定稅率ニ期待シタ通り從價五割ノ稅ヲ實施シタイト云フノガ、今回ノ改正ノ趣旨デアリマス、而シテ今回ノ改正關稅ノ實施ハ日佛協定ノ關係上、五箇月ノ期間ヲ過ギテマナケレバ實施出來ナイコトニナッテ居リマス、我國ノ國產自動車工業モ、是ガ實施ノ時期ニ參リマスルナラバ、從來認メテ居リマシタ外國會社ノ分ト合セマシテ、我國ノ自動車ノ需要ニ十分應ジ得ルヤウニ相成ルデアラウ、而シテ其際ニハ相當外國車ト國產車トノ間ノ競争モ豫想セラレマスノデ、此際ニ於テ關稅ノ改正ヲ致シテ置キタイ、左様ナ趣旨ニ出タ次第デアリマス、尙ホ只今ノ此差當デノ事態ニ於キマシテ、自動車ノ需

給關係ガドウナルカト云フコトニ付キマシテハ、一昨日モ御尋ガアリマシタ、之ニ付キマシテハ我國全體ノ需給關係カラ見マシテ、格別只今ノ所、特別ノ施設ヲ必要トシナイト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ地方的ニハ、此間ニ多少需給ノ圓滑ヲ缺ク點モアラウカト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、其配給方面ニ付テ十分注意致シマシテ、出來得ル限り左様ナ不便ヲ少カラシムルヤウニ、努力致シタイト考ヘテ居リマスガ、尙ホ今後モ事態ノ推移ニ付キマシテハ、十分注意致シマシテ、關係省トモ協議ヲ致シ適當ナル處置ヲ講ジマシテ、遺憾ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、大體左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○笠井委員 自動車ニ付テモウ少シ伺ヒタイト思ヒマス、只今ノ商工當局ノ御話デゴザイマスガ、大藏政務次官ニ一寸御意見ヲ伺ヒタイト思ッテ居リマスコトハ、今ノ商工省ノ方ノ御答辯、且又一昨日坂下君ニ對スル御答辯ニ依ッテモ、時局ノ推移ニ鑑ミテ、現在割當テ、アル所ノ自動車ノ數ヨリモ、モウ少シ殖ヤシテモ宜シイト云フ風ニ私ハ伺ッテ居リマシタガ、ソレデ宜シウゴザイマスガ、ソレカラモウ一ツ、更ニ大藏當局ノ御意見ヲ伺ヒタイコトハ、爲替管理ト

云フコトハ非常ニ難カシイ、爲替管理ガ非常ニ難カシクテ、僅バカリノコトデアッテモ、殆ド繁文縟禮デ、ナッテ居ラス、恐ラクハ最近東京市或ハ全國ニ於ケル「トラック」ナドヲ持ッテ居ル人ガ、スッカリ自分等ノ貨物自動車ヲ微發セラレテ、商賣ガ上ツタリデ困ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルガ、縦ンバ是等ノ人ガ自動車ヲ直グ買ッテ補給シヨウト思ッタ場合ニ於テモ、結局自動車ノ輸入業者、或ハソレニ携ッテ居ル人々ハ、爲替管理ノ方面ニ於テ遷延シテ、時日ヲ取ラレルノデアルカラ、是ハ君等ノ思フヤウニ自動車ヲ輸入シテヤル譯ニハイカヌ、斯ウ云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、此點ニ付テハ如何デゴザイマセウカ、果シテ政府ハ將來爲替管理ト云フモノヲ、サウ云フ方面ニ付テハ、モウ少シ敏活ニヤッテヤル、サウ云フウシテモウ少シ之ヲ増シテヤル、サウ云フヤウナ御考ガアルノデセウカ、此點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ伺ヒタイ

○太田政府委員 第一ハ割當ヲ變更スルコトガ出來ルト云フヤウニ申上ゲタノデナクテ、出來ナイト云フ意味デ申上ゲタト記憶シテ居リマス、第二ノ爲替ノ關係ニ付テ、輸入ヲドウ云フ風ニ取扱フカト云フコトハ、御案内ノ通り、現在爲替相場ノ維持ニ付

キマシテ、隨分苦心ヲシテ居ルヤウナ次第
デゴザイマスノデ、包括的ニ御問ノ點ニ付
テ、モット寛ヤカニ取扱フカドウカト云フ
ヤウナコトハ、個々ノ具體的ノ例ニ——實
際ニ輸入ヲナサラウトスル場合ニ問題ニシ
テ、御答ヲスルヨリ外ナイノデアリマス、
唯如何ニモ實際ノ狀況ヲ聞イテ見マスル
ト、爲替管理ニ色々ナ苦情ナドガゴザイマ
スルガ、其實、相當多額ノモノガ許サレテ
居リマシテ、總額トシテハ可ナリ大キナ高
ニナツテ居レバコソ、輸入ノ額モ斯様ニ殖
エタ譯デゴザイマスガ、此點ニ付テハ國際
收支ノ均衡ト云フ非常ニ大キナ立場カラ、
處理シテ居ルヤウナ次第デ、包括的ナ御返
事ハ此際申上ダ惡イコトヲ、御諒承願ヒタ
イト存ジ上ゲマス

○笠井委員 有難ウゴザイマシタ、大體分
リマシタ、ソレカラ最後ニ新聞紙ト印刷紙
ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思フノデスガ、今
回ノ關稅改正案ハ、前回ヨリ進歩シタト言
ヒマスカ、新聞紙ノ輸入ニ付テ關稅ヲ免除
スルト云フコトデアリマスルノデ、是ハ非
常ニ結構ト思ヒマス、朝シ是ハ千慮ノ一失
デアツテ、新聞紙ノ關稅ヲ免除シテ、サ
ウシテ一般ノ印刷紙ト云フモノヲ取除ケテ
置クト云フコトハ、是ハドウ云フ譯デア
ル

カ、前回ノ委員會ノ當時ニ於ケル色々ナ策
動ノコトモ伺フテ居リマシタケレドモ、是ハ
折角新聞紙ノ輸入稅ヲ免除スルナラバ、一
般印刷紙ノ輸入稅ヲ免除スルコトハ當然デ
アル、政府當局ハ言ハレルデアリマセウ、
新聞紙ト云フモノ、輸入ハ相當ノ額ニ上ッ
テ、一般印刷紙ハ少イ、成程昭和十一年ニ
於テハ新聞紙ノ輸入ハ金額ニ於テ九百二十
八萬圓デ、一般印刷紙ハ六十七萬圓、包裝
用紙ハ百四十七萬三千圓、模造羊皮紙ガ二
百二萬六千圓、板紙ガ四十萬六千圓、斯ウ
云フコトニナツテ居ル、ソコデ政府ノ方ノ
御答辯トシテハ、印刷紙ノ輸入數量ハ少イ
カラ、ソレハ免除シテモ、シナイデモ宜カ
ラウト云フコトデアラウト思ヒマス、併ナ
ガラ是ハ單ニ紙ノ輸入トカ輸出トカ云フ小
サナ問題デハナク、大キナ根本問題ニ觸レ
ルノデアリマス、ソレハ何カト言ヘバ、結
局我國ノ最近ノ重要産業統制法ト云フモノ
ガ、如何ニ我國ノ産業界ニ、又國民生活ニ
大打撃ヲ與ヘテ居ルカト云フコトデアリマ
ス、ソレハドウ云フコトデアアルカト言ヘ
バ、最近我國ノ重要産業統制ノ結果トシテ、
産業ヲ統制スルニ非ズシテ、「カルテル」デ
アルトカ、「トラスト」デアルトカ、資本主義
ヲ助長シテ、其惡例ガ茲ニ現ハレタモノデ

アリマス、デアリマスカラ、私ハ此場合ニ
於テハ新聞紙ノ輸入ニ對スル關稅ノ免除ヲ
スルト共ニ、印刷紙ノ輸入稅ヲ免除スルコトガ當
然デアアル、印刷紙ノ輸入稅ヲ免除シタ所
デ、一年ニ輸入額ガ六千萬圓位デアリマス
カラ、其免除ニ依ッテ生ズル關稅ノ減額ハ、
極メテ少額デアアル、併シ此免除ニ依ッテ得
ル所ノモノハ重大デアアル、ソレハ何デア
ルカト云フト、要ハ我國ノ製紙界ノ現狀ハ、
結局一ツノ「トラスト」ニ依ッテ「コントロー
ル」サレルト云フコトデ、國民ガ讀書ヲス
ル、小學校ノ生徒モ全國ノ國民モ新聞ヲ讀
ム、書物ヲ讀ム者ハ皆會社ノ奴隸ニナツテ
居ル、ソレハドウ云フコトデアアルカト云フ
ト、統計ヲ取テ申シマス、昭和十一年
ニ於ケル我國ノ印刷紙ノ總生産額ガ二十四
萬六千九百十二噸、其内王子製紙ノ生産額ガ
十四萬一千六百三十三噸、即チ五割九分八
厘ヲ生産シテ居リマス、新聞紙ニ於テ見マ
スト、同年ノ新聞紙ノ我國ノ總生産額ガ三十
四萬八千五百二十二噸デ、其内王子製紙ガ
三十二萬八千九百六十四噸、即チ九割四分
四厘ト云フ獨占事業ヲヤツテ居リマス、包紙
ニ於テ同年ノ我國ノ全生産額ガ十萬四千五百
五十三噸、之ニ對シテ王子製紙ガ九萬九千
六百二十八噸、即チ九割五分三厘、板紙ニ

於テモ其通りデアツテ、七割五分六厘ト云
フモノヲ王子製紙ガ產出シテ居リマス、其
他ノ印刷紙其他ノ紙ニ於テモ六割一分七
厘、即チ合計我國ノ昨年ノ紙ノ產額ガ八十
二萬八千四百二十五噸ノ所ヲ、王子製紙ノ
產額ガ六十六萬一千六百六十六噸、即チ七割
九分七厘ト云フモノヲ、王子製紙ガ產出シ
テ居リマス、之ヲ以テ見マシテモ吾々讀書
人ニ致シマシテモ、或ハ國民全體ト云フモ
ノガ、即チ王子製紙ノ奴隸トナツテ居ルコ
トガ、茲ニ一目瞭然デアアル、而シテ一方ニ
於テハ王子製紙會社ハ、昨年ハ一年ニ於テ
一億圓ノ利潤ヲ擧ゲタト言フデ豪語シテ居
リマス、而モ其一億圓ノ利潤ヲ擧ゲタト云
フコトハ、何ニ依ッテ彼等ガ擧ゲタカト云
フナラバ、要スルニ關稅ノ障礙ヲ高クシ
テ、外國ノ紙ト云フモノハ國內ニ入レナ
イ、サウシテ一方ニ於テハ産業ノ統制ヲヤ
ツテ居ル、之ヲ稱シテ産業ノ合理化ト云フデ居
リマスルガ、國民ハ洵ニ迷惑デアアル、而シ
テ之ガ例ヘバ北米合衆國ノ如キニ於テハ、
既ニ數年前ニ於テ「トラスト」ト云フモノガ
イケナイ、「カルテル」ト云フモノハイケナ
イト云フコトデ「トラスト」ヲ打壞ス爲ニ、
政府ガ「シューマン・アンチ・トラスト・ア
クト」ト云フヤウナ法案ヲ作ツテ、サウシテ之

ヲ著々實行致シテ居リマス、我國ニ於テハ一方ニ於テ政府ハ重要産業統制法ノ美名ノ下ニ、此獨占事業ト云フモノヲ助長セシメテ、其結果彼等ハ其負擔ヲ何處ニ負ハセルカト云フナラバ、國民ニ負ハセテ、自分ノ會社ニ於テハ七割九分ノ紙ノ獨占ヲヤツテ、サウシテ關稅ノ高イ障壁ヲ政府ヲシテ掲ゲサセテ置イテ、外國ノ安イ紙ヲ使ハサズニ、自分ノ紙ヲ使ハシテ、其餘剩ヲ外國ニ迄輸出致シテ居リマス、之ヲ以テ見テモ、我國特ニ現下ノ情勢ト云フモノハ、斯ウ云フ方面カラ即チ國民ニ、資本主義ノ弊害ト云フモノガ非常ニ惡イト云フコトヲ痛感セシメルモノデアリマスカラ、本委員會ニ於テ私ハ此點ニ付テ特ニ言フノデアリマセヌガ、是ハ別ノ意味カモ知レマセヌケレドモ、問題ハ茲ニ出テ居ル所ノ此紙ノ問題ニ關聯シテ居ルコトデアリマスカラ、一言申上ゲタノデアリマスルガ、カルガ故ニ一方ニ於テハ王子製紙ノ獨占ヲ牽制スル、サウシテ一方ニ於テハ國民全體ニ、モウ少シ紙ト云フモノヲ安ク使ハセルト云フコトガ、必要デハナイカト思フ、ソコデ結局申上ゲテ見マス、成程外國カラ印刷紙ノ輸入ト云フモノハ少イデアリマセウ、但シ國內ニ於ケル所ノ印刷紙ノ輸入、產額ト云フモノハ、

應數ニ於テハ新聞紙ヨリモ少イカモ知レマセヌケレドモ、金額ニ於テ殆ンド新聞紙ノ倍以上ニナツテ居リマセウ、カルガ故ニ私ハ極論致シマスルガ、ドウカ政府當局ハ此點ニ注意セラレテ、サウシテ大藏當局ノ御考ヲ承リタイト思ヒマスルガ、印刷紙ノ輸入ニ關シテハ、新聞紙ト同ジク、他ノ印刷紙其他ノ紙ヲ無稅ニスル、關稅ノ障壁ヲ撤廢シテ無稅ニシテ戴ク、サウ云フコトヲ御願スルノデアリマスガ、此點ニ付テ太田大藏政務次官ノ御意見ヲ伺ヒマス

○太田政府委員

筈井サンノ印刷用紙ニ對シテ無稅ニシタラドウカト云フ御意見ニ對シテ、御答申上ゲマス、紙ガ精神的食糧ト申シマスガ、文化的ノ必要品デアツテ、サウ云フ意味ニ於テ十分關稅政策上モ考慮シナケレバナラヌコトハ、私モ同感デアリマス、併シ一樣ニ紙ト申シテモ、色々生産關係、需給關係等ニ於テ種類ガゴザイマスノ

デ、新聞用紙ニ付キマシテハ、其公共的ノ性質ニ主タル點ヲ置キ、且ツ供給ガ餘リ不足シテ居ル點ヲ考ヘマシテ、今回無稅ト致シマシタ、而シテ印刷用紙ニ付キマシテハ、今マデ三割五分ノ附加稅ガ附イテ居リマシタノヲ、三割五分ヲ撤廢スルヤウニ、今御審議ヲ願ッテ居ルヤウナ次第デ、此程度

ヲ以テ先ヅ新聞用紙ト印刷用紙ノ二ツノ關係ハ調整セラレデハナイカ、念ノ爲メ申上ゲマスガ、新聞用紙ノ方ニハ三割五分稅ガ課テ居リマセヌガ、三割五分稅ノ課ッテ居リマセヌ新聞用紙ノ方ハ無稅トシ、三割五分稅ノ課ッテ居ル印刷用紙ハ、其三割五分稅ヲ外ス程度ニ於テ、此際適當ノモノト考ヘテ、此案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙ホ重要産業統制法ガ「カルテル」助長ニ走リ過ギタト云フ點ニ付キマシテモ、是ハ私共ノ範圍デハゴザイマセヌガ、關稅ノ點ニ付キマシテモ、御趣意ノ程ハ能ク考ヘテ、將來誤リナキヲ期シタイト思フノデアリマス

○筈井委員

是デ最後デアリマスガ、三割五分稅ヲ撤廢セラレントシテ居ルヤウデアリマスガ、ドウカ左様實施セラレントヲ希望シマス、尙ホ新聞紙ガ公益事業ノ一ツデアルト云フコトヲ仰シヤラレマシタガ、

同時ニ又國民ヲ啓發シ、國民全體ノ精神的ノ糧ト政務次官ハ仰シヤラレマシタガ、其通りデアリマスカラ、此點マデ思ヒヲ致シテ戴イテ、サウシテ本會ハ新聞ト同ジヤウニ、印刷紙モ無稅ニナルヤウニ均霑セラレントヲ切望シマス、ソレカラ需給關係ト云フコトヲ仰シヤラレマシタガ、外國カラ入ッテ來ル所ノ印刷紙ト云フモノハ、先程私

ガ申述ベタヤウニ、今日ハ其數量ガ少ナイノデアリマスカラ、要ハ其關稅ノ障壁ヲ撤廢シテ、一方ニ於テハ我國重要産業統制法ニ依ッテ釀サレタ所ノ其資本主義ノ惡弊ヲ打破シ、一方ニ於テハ王子製紙ノ獨占事業ヲ持ッテ居ルモノヲ、之ヲ矯正スルト云フコトガ必要デハナイカト思フ、ソコデ更ニ一言大藏政務次官ニ御伺ヒシタイコトハ、王子製紙會社ノ昨年中ノ利益ハ一億圓デアルト云フコトヲ新聞紙上ニモ之ヲ發表シ、又社長其他ノ言ニ於テモ豪語シテ居ルヤウデアリマス、然ラバ此際ニ、今ヤ國家ハ非常時デアル、今ヤ我國ハ大ナル國際的ノ情勢ガ非常ニ困難ナ場合ニ立ッテ居ルノデ、斯

○太田政府委員

時局ハ非常ニ重大デアリマシテ、北支ノ狀況ハ刻々ニ變リツ、アル

此際ニ於テ、吾々打ッテ一丸トナツテ此問題ニ當ラナケレバナラヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ租稅制度ノ上カラ申シマシテモ、斯ウ云フ非常時局ニ、利益ノアルモノニ對シテドウ云フ處置ヲ執ルカト云

フコトニ付キマシテハ、色々軍事上ノ支出ノ關係竝ニ其財源ヲ何處ニ求ムルカ、斯ウ云フ問題ト關聯シテ居リマスノデ、具體的ノ解釋ニ付テノ事ハ一寸申上ゲ兼ネマスルガ、御趣旨ノ在ラレル所ハ能ク諒承シテ、本當ニ國民ノ意思ニ副フヤウニ、此際財源ノ調達ニ掛カリタイト思ッテ居リマス、ソレ以上ハ私マダ今日確案トシテ申上ゲル所マデ行ッテ居リマセヌ、唯利益ヲ得タ御方ヲドウスルカト云フコトニナリマシテハ、現在アル稅制ニ依ッテ御奉公願フ、ソレ以上ノ問題ニ付テハ、只今私ノ申シマシタ趣意ニ依ッテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○笠井委員 御趣旨ハ洵ニ能ク分リマシタ、此問題ニ付テハ尙ホ田原君カラモ御質問モアリマシタガ、私ノ質問ハ是ヲ以テ打ちリマス

○青山委員 私ハ既ニ一昨日西川君ニ依ッテ懇切ニ論議ヲ遂ゲラレタ免稅礦油ノ問題ニ對シテ、一言當局ノ御考ヲ承リタイト思フノデアリマス、燃料國策ノ遂行ノ已ムヲ得ザルコトハ、本員モ承知シテ居リマス、大藏大臣ノ説明ニ依リマスルト、免稅制度ニハ弊害ガアル、ソレデ廢止スルノデアルト云フノデゴザイマス、詳シイコトヲ速記錄ニ依ッテ承知致シタイト思ッテ速記錄ヲ求

メマシタガ、マダ出來テ居ラヌノデアリマス、ソレデ或ハ細カイ點ニ付テハ外レテ居ルカモ知レマセヌガ、私ハ一昨日ノ大臣ノ聲明ニハ承服シ兼ネル點ガアルノデゴザイマス、弊害ノコトデゴザイマスガ、免稅制度ニハ若干ノ弊害ノアルコトハ私モ認メテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ其原因ニ付テハ一昨日當局ノ言ハレタノト見解ヲ異ニ致シテ居ルノデゴザイマス、少クトモ當業者側ニノミ責任ヲ歸スルコトハ不當デゴザイマス、殊ニ漁業組合竝ニ水產會等ガ、何カ油屋ト狎レ合ヒデモシテ居ルカノヤウナ言辭ヲ御發表ニナッタコトハ、非常ニ遺憾デアルト同時ニ、私承服シ兼ネルノデアリマス、免稅問題ノ許可處分ノ濫澤ガ、私ハ免稅問題ノ不透明ニナッタ一番ノ原因デナカラウカト思フノデアリマス、元來免稅制度ノ運用ニ關シマシテハ、漁船ノ發動機ガ急激ニ増加致シマシタ結果、隨テ重油免稅ノ許可ヲ受ケル者モ激増致シタ次第デアリマシテ、此數年間ニ數萬件ニモ達スルノデゴザイマス、然ルニ是ガ許可ヲ爲スベキ商工省ニハ、之ヲ迅速ニ處分スルニ必要ナダケノ人員ノ用意モナイノデアリマス、漁業ニ關スル專門家モ居ラナイノデゴザイマス、隨テ許可ノ申請ヲ致シマシテ二箇月、

甚シキハ五六箇月ヲ經マシテモ、認可ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、ソコ地方水產會デハ商工省ノ諒解又ハ勸誘ニ依リマシテ、免稅許可ノ代理申請ヲ爲スニ至ッタノデアリマス、少クトモ水產會ノ斡旋ニ依リマシテ、漸次改善セラレタト申シテ差支ナカラウト思フノデゴザイマス、ソレノミ意見ヲ徵シテ制度ノ改善ニ乗出シテ、屢、商工大臣又ハ鑛山局長ニ對シテ意見ヲ提出致シタコトモアリマス、私ノ如キモ度々呼出サレマシテ、商工省ハ此陳情ニ出タコトモアルノデゴザイマス、併ナガラ其制度ノ運用ガ何等改善ヲ施サレナカッタノデゴザイマス、大藏大臣ハ單ニ大藏省所管ニ於テ所信ヲ述ベラレタモノデアリマセウガ、商工省、農林省、此兩當局ニ於テハ、當業者ヲ首肯セシムルダケノ改善努力ヲ盡サレナカッタ、而シテ一舉ニ免稅廢止ノ暴舉ニ同意シタト云フコトヲ、私ハ不可解ニ存ジテ居ルノデゴザイマス、又無責任トモ考ヘルノデゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマシテ、少クトモ大臣ガ當所ニ於テ言ハレタ言葉ガ、免稅ニ關係シテ居ル全國三十三ノ水產會、其他漁業組合ニ對シテ如何ニモ世間態ノ惡イ御言葉ヲ以テアシラハレタト云フコトハ、

如何ニモ遺憾ニ存スルノデゴザイマスガ、私ノ考ガ違ヒマスカ、又大臣ノ話シタ事情、大藏商工兩當局ノ説明ニ於テ幾分欠缺ル所ガナカッタカ、此點ヲ御同致シタイト思フノデゴザイマス

○太田政府委員 一昨日當所ニ於テ大藏大臣ガ御答申上ゲマシタ言葉ニ付イテ、誤解ヲ來シマシタコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、而シテ大藏大臣ノ申上ゲマシタ趣意ハ、水產會或ハ漁業組合ヲ誹謗シヨウト云フヤウナ意味デハゴザイマセヌノデ、又水產會ガ御話ノ通り、色々水產業ノ改善ノ爲ニ御努力ナスッテ居ルコトヲ無視シテ、申上ゲタノデハゴザイマセヌ、其當時大臣ノ言ヒ現ハシタカッタ言葉ヲ更メテ申上ゲマスニ依ッテ、其意味ニ於テ御諒解ヲ御願致シタイト思ヒマス、政府委員ノ方カラモ申上ゲマシタ通り、漁業ヲナスッテ居ル方ガ、免稅手續ヲ油業者ニ委任シテ居ルコトハ御案内ノ通りデアリマシテ、其場合ニ非常ニ反則ガ多カッタト云フコトヲ遺憾ト致シマスガ、又以テソレガ水產會ニ代理ノ手續ヲ執ッテ戴クコトニナッタ原因デモアッタノデゴザイマス、ソレハ洵ニ遺憾ナ反則事實ガ多カッタト云フコトニ原因シテ居リマス、所デ水產會ガ委任ヲ受ケラレテ

手續ヲスルコトニナリマシタ後ニ於キマシテ、更ニ水産會ガ油業者ニ委任シテヤラシタト云フ其場合ニ於キマシテ、油業者ノ方面ニ於テ事實トシテ反則ニナッタ例モ少クナイト云フコトモ、御諒承願ヒタイト存ジ上ゲマス、サウ云フ意味デ申上ゲマシタノデ、水産組合ナリ漁業組合ヲ誹謗シヨウト云フヤウナ心持テト言ハズ精神デ以テ、申上ゲタコトデハナイノデコザイマスケレドモ、事實ノ點ノ言ヒ現ハシ方ガ少シク拙カッタ爲ニ大變氣拙イオ感ジテ抱カシメラレタト云フコトハ、洵ニ残念ナコト、存ジマス、大藏大臣ノ申上ゲタ趣意モ、又政府委員ノ申上ゲタ趣意モ、斯様な點ガアリマシタノデ、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○青山委員 政務次官ノ御話デ能ク諒解致シマシタ、兎ニ角水産會ト云フモノハ大藏省ナンカニハ餘リ能ク分ッテ居ラスノデゴザイマスカラ、斯ウ云フコトヲ御縁ニシテ將來益ノ可愛ガッテ戴クヤウニ御願シテ置キマス、此機會ニ私ハ農林當局ニ御伺致シタイト思ヒマスノハ、此案トハ最モ密接ナ關係ノアル昨年議決ニナッテ居リマスル二百萬圓ノ漁業經營費低減ノ問題デゴザイマシガ、斯様な金ヲ以テ或ハ是等ノ免稅廢止ノ

緩和ヲスルト云フヤウナコトガ、十分ニ出來得ル見込ガゴザイマスルカ、私ハ二百萬圓ヤソコラノ金デハ、今日ノ免稅廢止ニ依ッテ虐ゲラレル漁民ノ救済ハ、非常ニ覺束ナイト考ヘルノデゴザイマス、此點ニ對スル御考ヲ承リタイ、今一ツハ昨日農林大臣ガ豫算總會ニ於テ、何カ此問題ト關係ガアルカナイカハ知りマセヌケレドモ、低利資金其他ノ方法ニ依ッテ、漁業方面ノ救済ヲスルト云フヤウナ御話モアッタヤウデアリマスガ、若シ此内容ガ御分リデゴザイマシタナラバ、此際承レ、バ非常ニ仕合せト存ズルノデゴザイマス、此二點ノコトヲ御尋致シマス

○三宅政府委員 對策豫算ノ金額ハ、全年度ヲ通ジマスレバ、二百萬圓ト云フコトニナッテ居リマスガ、其二百萬圓デ、而シテソレガ十箇年デ以テ、安イサウシテ少イ重油ヲ使ヒ得ルト云フコトニ改メラレル計畫ニナッテ居ルノデアリマスガ、二百萬圓ノ範圍内ニ於テ其計畫ガ實行シ得ルト信ジテ居リマス、低利資金ノ問題ハ大藏政務次官ノ方カラ御答致シマス

○太田政府委員 昨日豫算總會ニ於テ、農林大臣ガ漁業者ノ必要品デアル重油ヲ買フニ付テ、低利資金ヲ得ルヤウニシタイト云フコトヲ申述ベラレタコトハ、御言葉ノ通りデアリマス、其點ニ付キマシテハ丁度譬ヘテ見マスルト、農業者ノ肥料ニモ類スルヤウナモノデゴザイマシテ、出來ルコトナラバサウ云フ方面ニ多々益、辨ズルヤウニナレバ結構ト思ヒマス、大藏省側ニ於キマシテモ、其御希望ノ趣意ヲ能ク考ヘマシテ、預金部ノ資金關係等モ考慮シ、御希望ニ副フヤウニシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレダケ御答申上ゲマス

○中井委員 青山君ノ質問ニ關聯シマシテ、一二點簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、只今青山君カラ御質問ガアリマシタ前林内閣時代ニ於テ通過致シマシタ豫算、一年約二百萬圓、十年繼續ノ漁船ノ改造、漁船ノ機關ノ改造、「タンク」ノ設備、漁業從業員ノ素質ノ改善、水産會ヘノ補助、斯ウ云フモノ、爲ニ、政府ガ使ハレル金ハ十年間ニ約二千萬圓ニナルノデアリマス、然ルニ此點ニ付テ前内閣ノ大藏大臣ハ豫算委員會ニ於テ重要ナル答辯ヲシテ居ラレマス、其答辯ニ依リマスルト、即チ現ニ問題ニナッテ居リマスル礦油稅ノ免稅約三百萬圓ヲ止メルコトガ出來ナケレバ、即チ此二百萬圓十年計畫ノ漁業家ニ對スル補助モ止メルト云フヤウナ、重要ナル答辯ガアルノデアリマ

ス、而シテ此委員會ニ於キマシテハ、先般來各委員ノ論議ハ、礦油稅ノ免稅ノ問題ニ付テ集中サレテ居ルヤウナ形デアリマス、此礦油稅ノ免稅ガドウナルカト云フコトニ依ッテ、先程申シタ十年間二千萬圓ノ漁業家ニ對スル補助ガ、根本的ナル影響ヲ及ボサレルト云フコトニナリマスルナラバ、是ハ實ニ容易ナラヌ問題ヲ貽シテ居ルト思フノデアリマス、吾々委員ト致シマシテハ、礦油稅ノ問題ヲ如何ニ解決スルカト云フコトニ付テハ、此又代案タルベキ問題ニ付テ政府ノ決心ヲ承ルト云フコトガ、最モ必要デアラウト思ヒマス、果シテ此際内閣ガ送ッテ居ルニ拘ラズ、尙ホ前結城大藏大臣ノ答辯ヲ支持サレルノデアリマスルカ、ソレトモ現内閣ニ於テハ如何ナル態度ヲ以テ進マントセラレルノデアルカ、ハッキリシタ御答ヲ願ヒマス

○太田政府委員 中井サンノ非常ニ重要ナル點ニ觸レラレテノ御質問ニ對シテ、御答申上ゲマス、豫算ニ掲グラレテアリマス漁業經營費低減施設費二百萬圓ハ、只今御話ノ中ニアリマシタ内容ヲ盛ラレタ經費ニ充テルモノデゴザイマスガ、是ハ當時結城大藏大臣カラモ御説明申上ゲマシタ通り、一方ニ免稅ヲ廢止スベキ代案デゴザイマスルノ

デ、其關係ニ於キマシテハ、免稅ヲ廢止スルカラ此案ガ出來タノデ、何處マデモソレト對立的關係——對立ト申シテ宜シウゴザイマセウカ、其方ガ出來ナケレバ此方ハ使ヘナイ、斯ウ云ッタヤウナ意味ニナッテ居ルノデアリマス、御案内ノ通り此礦油ノ免稅ニ付テハ、漁業者ノミナラズ鑛山業竝ニ工業用關係ニモ及ブノデアリマスガ、其方面ニ付テハ免稅ヲ取消放シデゴザイマシテ、漁業ノ重大ナル地位ニ鑑ミマシテ、是ダケノ施設ヲ致シタノデアリマシテ、代案ノ意味モ其處ニ重キヲ置イテ居ルモノト、御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

○中井委員 此問題ニ付テハ私ハ固ヨリ一ツノ意見ヲ持ッテ居リマスケレドモ、ソレハ意見ニ涉リマスカラ申シマセヌ、政府ノ御意思ハハッキリ致シマシタカラ、其御意思ニ基イテ吾々モ決心ヲ致シタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ此程度デ一時中止致シマス

○中井委員 洵ニ是ハ重大ナル御答辯ナノデアリマスガ、ソレナラバ更ニ御尋致シタイノデアリマス、漁業者ニ對スル只今申上ゲタ補助ノ豫算ト云フモノハ、本年三月ニ議會ヲ通過致シテ居リマシテ、新會計年度ハ四月一日カラ始マッテ居ル筈デアルカラ、今日ニ至ル迄既ニ數箇月間モ經過致シテ居ル、其間然ラバ折角通ッタ豫算ニ依ル此漁船其他ニ對スル補助ト云フモノハ爲サラズニ、留保サレタ儘來テ居ルノデアリマスカ

○山道委員長 只今岩瀨君ノ御發議ハ御聞キノ通りデアリマス、之ヲ御諮リ致シマス、御異議アリマセヌカ

○太田政府委員 其通りデゴザイマス、先程私ノ對立ト云フ言葉ハ少シク當嵌マラヌカモ知レマセヌガ、免稅ヲ止メルニ付テ設

○岩瀨委員 議事進行ニ付テ一言申上ゲマス、會期モ大分切迫シテ居リマスノデ、各議案ヲ圓滿迅速ニ進行サセル意味合ニ於テ、理事者ヲ拔キニシタ委員ダケノ全體ノ協議會ヲ致シタイト考ヘマス、ソレデ尙ホ殘ラデ居ル質問ハ午後ニ廻シマシテ、引續イテ協議會ヲ御開キ願ヒタイト思ヒマス

○山道委員長 只今岩瀨君ノ御發議ハ御聞キノ通りデアリマス、之ヲ御諮リ致シマス、御異議アリマセヌカ

○山道委員長 御異議ナシト呼フ者アリ

午後零時十分休憩

午後二時十三分開議

○山道委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ開會致シマス、田原君ノ發言ヲ許シマス

○田原委員 私ハ成ベク時間ノ節約ノ爲ニ、重複シナイヤウニ質問ヲシタイト思ヒマスガ、今度ノ増稅案、關稅ノ増徴ニ付テ、

其中デ自動車ノ問題ト、ソレカラ紙ノ問題ト硬油ニ關スル問題ノ中デ、成ベク同僚先輩諸君ノ質問ニ觸レナイデ、ソレ以外ノコトヲ簡單ニ御答願ヒマス、最初ニ御尋致シマスガ、商工省ハ本省デ現在御使用中ノ自動車——是ハ一昨日質問書ヲ出シテ置イタノデアリマスガ、御答辯ガゴザイマセヌデシタ、本省デ御使用ノ自動車ノ中デ、國產品ガ何臺アルカ、ソレガ外國品ニ對シテ幾ラデアアルカ、之ヲ御伺シテ置イタノデアリマスガ、ソレヲ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス、大體山田委員ノ御質問ノ趣旨ニハ贊成シテ居ルノデアリマスガ、其御質問ニ更ニ附加ヘテ御伺シタイノハ、御承知ノヤウニ國產品ハ特ニ部分品ニ於キマシテ、質ガ惡イノデアリマシテ、輸入品ノコトヲ純正部分品ト言ッテ居リマスガ、純正部分品ハ御承知ノヤウニ、例ヘバ「フォード」ノ工場

邊リガ發動機ヲ造リマシテモ、非常ニ嚴重ナ耐久力試驗ヲヤリマシテ、ソレニ合格シナイモノハ、例ヘバ百本造ッテモ三十本位ハ不合格品ニシテ市場ニ出サナイ、日本ノ部分品ノ製造ノ實際ヲ見ルト、製造サレタモノハ多少質ガ惡クテモ、全部之ヲ市場ニ賣出シテ居ルノデアッテ、隨テ途中デ破損シタリ、惡クナル回数ガ非常ニ多イ、斯様ナ狀態デアリマスカラ、自動車ノ部分品ノ獎勵保護ト云フコトガ、技術上ノ獎勵保護ニナラズニ、唯外來品ノ價格ノ吊上ニ依ッテ現在ノ製造技術ニ依ッテモ儲カルト云フコトニナルナラバ、純正部分品ニ匹敵スルヤウナ良イ材料ヲ、内地ノ國產會社ガ造ルダケノコトヲ怠ルノデハナイカ、言換ヘマスナラバ、利潤追求ノ今日ノ經濟機構ニ於キマシテハ、儲リサヘスレバ宜イノデアリマシテ、早クソレガ惡クナッタリ、質ガ惡クナッタリスルコトニ對シテハ、道德上ノ責任ハ持タナイ、サウ云フ意味カラシマシテ、ヤハリ是ハ山田委員其他ガ發言セラレタヤウニ、今暫ク部分品ナリ自動車ノ輸入稅ト云フモノ、引上ヲ延期シマシテ、相當ノ技術上物品ノ耐久力其他ガ外來品ト匹敵スルマデハ、斯ウ云フヤウナ引上ゲニ依ル所ノ人爲的ナ助長政策ハ、却テ害ガアルト認メマ

スガ、此點ヲ如何ニ御認メニナッテ居ルカ、
第一ニ御伺ヒスル點デアリマス、此點ハ重
複致シマスガ、前ノ山田氏邊リガ質問サレ
テ居リマシタヤウニ、實際東京ダケデナク、
地方ノ自動車業者ニ對シテモ、徵發其他ニ
依リマシテ、自動車ヲ徵發サレタ後ニ、扱
テ自分デ別ニ買ハウト致シマシテモ良イモ
ノガナイ、外國カラノ品物ニ付キマシテハ、
輸入ニ色々制限ガアル爲ニ、買ヘナイト
云フコトニナリマシテ、結局何ノコトカ今
度ノ關稅引上ゲニ付キマシテノ御趣旨ト云
フモノガ、本當ニ徹底シナイノデハナイカ
ト疑ハレルノデアリマスガ、之ニ對シマシ
テドウ云フ御考デアリマスカ、先ヅソレカ
ラ一ツ御伺致シタイト思ヒマス

○尾關政府委員 關稅ヲ今度引上ゲルコト
ニ付テ御答辯申上ゲマス、日本ノ内地ニ於
テ自動車工業ヲ確立シナケレバナライコ
トハ、産業上カラ申上ゲマシテモ、又國防
上カラ申上ゲマシテモ、現在緊急缺クベカ
ラザルモノデアルト云フコトハ、既ニ他ノ
政府委員カラモ申上ゲマシタヤウナ譯デ、
此處デ繰返シテ申上ゲルマデモナイト存ジ
マス、然ルニ現在ノ稅率——是ハ午前中工
務局長カラモ申上ゲマシタガ、自動車完成
車五割ト云フ稅金ニナッテ居リマスルガ、是

ハ日佛關稅協定ノ爲ニ、其七割ト云フモノ
ニナッテ居リマシテ、實際ノ適用ニ於キマ
シテハ三割五分ト云フモノガ適用ニナッテ
居リマス、ソレカラ部分品ハ四割二分ト云
フ特定稅率ニナッテ居リマスルガ、其方モ亦
日佛關稅協定ノ結果、八三・三%ト云フモノ
ガ、協定稅率ニナッテ居リマスル關係上、實
際ニ適用スルモノハ三割五分ト云フコトニ
ナッテ居リマス、隨テ之ヲ一口ニ申上ゲマス
ルト、完成車モ其部分品モ、三割五分ト云
フ關稅率ガ實際ニハ動イテ居リマスルノ
デ、是ダケノ稅率ダケデハ、日本デ産業ヲ
確立シテ行ク上ニ於キマシテ、足ラナイノ
デゴザイマス、ドウシテモモウ少シ關稅率
ヲ引上ゲナケレバ足リナイ、日本ノ産業ガ
確立シテ行カナイト云フ實情ニアルノデゴ
ザイマス、而モ御承知ノ通り今日日本デ部分
品ヲ輸入シテ、サウシテ組立テ、居ルモノ
ニハ、大キナ外國會社ガゴザイマス、ゼネ
ラル・モーターズ「フォード」ナド大キナ會
社ガ日本デ拵ヘテ居リマスルガ、是ハ今斯ウ
云フヤウニ鐵ガ非常ニ高クナッテ居リマシ
テモ、部分品ハソレ程高ク引上ゲズニ内地
ヘ持ッテ來テ、組立テ、賣ッテ居ルヤウナ狀
態デゴザイマシテ、隨テ内地ノ自動車工業
ヲヤッテ居ラレル方ハ、相當關稅率ノ低イ爲

ニ苦シンデ居ル狀態ノヤウデゴザイマシ
テ、今此稅率ヲ引上ゲルト云フコトハ自動
車業確立ノ爲ニ、已ムヲ得ナイモノデア
ルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス
○田原委員 私ガ今御質問申上ゲマシタノ
ハ、主トシテ商工省ノ工務局ノ方ニ、部分
品ノ質ノ問題ニ對シテ、斯ウ云フ補助助長
政策ヲスルコトガ宜イカドウカト云フコト
ノ御質問デゴザイマス、御答ヲ願ヒタイト
思ヒマス、稅率ノ問題デナカッタノデゴザ
イマス

○小島政府委員 只今田原委員カラ我國ノ
國產自動車、其部分品ノ品質ガ外國品ニ
及バヌノデハナイカ、最近ノ事情ニ徴シマ
シテ關稅ノ引上ハ如何ナモノデアルカ、斯
ウ云フヤウナ趣旨ニ於テ御質問ガアリマシ
タノデアリマス、先程モ申上ゲマシタ通り
自動車工業ノ確立ト云フコトハ結局部分品
ノ材質ヨリ其製造技術ニ互リマシテ、之ヲ
我國ニ於テ確立スルト云フコトニ歸著スル
ノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ
部分品ノ製造ニ付キマシテハ、私共トシマ
シテモ許可會社其他ニ於キマシテ、十分是
ガ指導ニ努メテ居ルノデアリマス、最初ハ
此部分品ノ品質等ニ付キマシテモ、多少
案ジラレタ點モアリマスルケレドモ、其後

是等ノ品質モ漸次改善サレマシテ、最近ニ
於キマシテハ、其性能ニ於キマシテ、我國ノ
自動車ガ外國ノ大衆車ノソレニ比シテ遜色
ガアルト云フ様ニ認メナイ程度ニ、進歩致
シタノデアリマス、今後更ニ一段ノ努力ヲ
致シマシテ、此部分品ノ改善ヲ圖ルノ必要
ナルコトハ勿論デアリマスルケレドモ、此機
會ニ於キマシテ是ガ關稅ノ引上ヲ致シマシ
テ、而モソレハ先程モ申上ゲマシタ通り、
從來從價五割ノ國定稅率ハ、日佛協定ノ關
係上、實際上ハ更ニ低率デアリマスノデ、
之ヲ實際上モ從價五割ニ相成ル様ニ致シマ
スノデ、此程度ノ關稅引上ヲ致シマシテ我
國ノ自動車工業ノ將來ニ對シテ、内外車間
ノ競争其他ノ不安ヲ除クコトニ致シマシタ
ノデアリマシテ、斯様ナ趣旨ニ於キマシテ
是ガ關稅改正ヲ致シマスルコト云フコトハ、已
ムヲ得ナイ必要ナ施設ト考ヘテ居リマス、
又現在ノ時局等ニ鑑ミマシテモ、此程度ノ
引上ヲ致シマスルコトハ支障ハナイト考ヘテ
居リマス

○田原委員 モウ少シ御伺シタイコトガア
リマスルガ、全體ノ時間ノ鈞合デ後日ニ讓
リタイト思ヒマスガ、次ハ紙ノ問題デアリ
マスルガ、午前中笠井委員カラ色々御質問
ガアリマシタ中ニ、王子製紙ガ昨年ノ利益

ガ一億圓ニ達シテ居ルト云フコトヲ自ラノ社デモ發表シテ居ルト云フノデアリマス、今回ノ新聞用紙ノ免稅ニ依リマシテ、逆ニ王子製紙ガ儲カッテ居ルト云フ奇現象ガ吾吾ニ發見サレルノデアリマス、ソレハ各新聞社トノ供給契約ハ一箇年デアリマシテ、

最早契約ヲ締結シタ後デアリマス、今日新聞用紙ノ輸入税ガ免税サレマシテ、其爲ニ王子ハ逆ニ來年ノ契約更改年度迄ノ間ニ、數百萬圓ノ免税ニ依ル臨時ノ不當利得ヲ得ルヤウナ、珍現象ヲ呈シテ居ル譯デアリマス、政府ハ近々北支事變ニ絡ム所ノ臨時増税案ヲ出スヤニ聞イテ居ルノデアリマシガ、私ハ此際大藏省ナリ商工省ナリガ斯様な情勢ニ鑑ミマシテ、王子製紙ニ對シマシテ、今回ノ新聞用紙輸入免税ニ依リ不當利得トナルコトニ對シテ、元來日本ノ製紙業ヲ獨占シテ居ルコトニ依ッテノ巨大ナル利益ヲ擧ゲテ居ル王子製紙ニ對シマシテ、臨時ニ少クトモ其利得ノ中ノ五割以上ニ相當スル臨時税ヲ課スル御意思ガアリマスカドウカ、御伺シテ見タイト思フノデアリマス、次ニヤハリソコニ絡ンデ來ルコトデアリマスガ、最早今日紙ト云フモノハ重要ナル基礎産業デゴザイマシテ、是ガ三井其他ヲ背景トスル獨占會社ニ依リマシテ、品物

ノ供給ト値段トヲ左右サレルト云フコトハ、非常ニ私共ハ文明ノ冒瀆デハナイカト思フノデアリマス、進ンデ製紙事業ノ國營ニ向ッテ國策ヲ進メラレル御意思ガアリマスカドウカ、關係當局ノ御意見ヲ聞イテ見タイト思フノデアリマス

○大矢政府委員　此度ノ新聞用紙ノ關稅ノ撤廢ニ依ッテ、王子製紙ハ不當ノ利得ヲ得ルデハナイカト云フヤウナ御説デアリマスガ、私ハ左様ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、王子製紙ノ供給シテ居ルモノハ、此度ノ關稅ノ撤廢ニ依ッテ幾分安ク輸入セラレルコト、ナル製紙トハ違ヒガアルノデハナイカ、隨テ此關稅撤廢ニ依ッテ直接ニ王子製紙ガ一箇年以上ノ契約ヲシテ居ルガ爲ニ不當ノ利益ヲ得ルト云フ現象ハ、起ッテハ參ラヌコト、存ジテ居リマス、尙ホ王子製紙ノ一箇年ノ利益ハドレ程アルカト云フコトニ付キマシテハ、此席デ申上ゲルノハ避ケタイト思ヒマス、近時我國ノ財政ハ御承知ノ通りデアリマシテ、赤字公債ヲ隨分支出シテ居ル、是ガ爲ニ此四月カラ隨分巨額ノ増稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、又最近起リマシタ北支事變ノ今後ノ進展ノ如何ニ依ッテハ、尙ホ或ハ増稅ト云フコトヲ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フ場合

ニ於キマシテハ、只今御尋ノヤウナ趣旨モ
十分尊重致シマシテ、適當ニ善處致シタイ
ト思ヒマス

○田原委員 次ハ礦油問題デアリマスガ、是ハ先日來ノ質問應答ニ依リマシテ、燃料國策カラ出發シタ案デアルト云フコトヲ、十分善々ハ諒解出來ルノデアリマスケレドモ、又同時ニ、各同僚委員ノ質問ノ中ニアリマシタヤウニ、重要ナル燃料國策ノ飛沫リヲ受ケマシテ、漁民ナリ其他ノ一般勤勞大衆ガ、特別ニ被害ヲ受ケルヤウナ結果ヲ生ムコトニ付キマシテノ、非常ナ心配ガ皆ニ多カッタノデアリマス、私ハ今度ノ關稅増稅率ニ依ル被害デハナイニ致シマシテモ、實ハ斯様ナ問題ガ農村ニ起ツテ居ルノデアリマシテ、私ノ居リマス九州デハ、大キナ九州水力電氣會社ト云フモノニ依リマシテ、殆ド獨占的ニ農家ニ電燈ヲ供給シテ居ルノデアリマスガ、ソレデモ尙ホ山付キ村ナドニ行キマスト、十軒二十軒ノ所ガ、今日電燈ノ敷設料ガ非常ニ高ウゴザイマシテ、戸數二十戸位ノ所ニ電燈ヲ點ケタイト云フコトヲ話シマスト、先ヅ附近迄來テ居リマス電柱カラ計算シマシテ、六百圓ナリ八百圓、一軒當リ四、五十圓ノ臨時ノ負擔ヲシナケレバ、電燈ヲ點ケヌト云フコトヲ言ヒ

マス、其爲ニ文明ノ今日尙ホ「カンテラ」ナリ「ランプ」ヲ以テ生活ヲシテ居ル農民ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ單ニ北九州バカリデハナク、東北各地ニモアルト思ヒマスガ、是等ノ電燈ヲ點ケルダケノ資力ノナシ農民ガ、今度ノ石油業法、或ハ燃料國策ニ依リマシテ、急速ニ小賣市價ガ騰リマシテ、其「ランプ」ノ代迄モ儉約シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、非常ニ問題ニナッテ居ルノデアリマス、更ニ農村デハ御承知ノヤウニ、苗代ヲ作りマスト蟲ガ來ルモノデアリマスカラ、誘蛾燈ト申ス「カンテラ」ヲ燈シテ、夜ハ其處ニ蛾ヲ集メルノデアリマス、アノ誘蛾燈ノ石油代サヘモ倍ニナルト云フコトデ、時間ヲ節約シタリ、或ハ誘蛾燈其モノヲ點ケラレナイト云フコトデ、農村デハ思ハザル害ヲ今度ノ燃料國策ノ飛沫リヲ受ケテ居リマス、國策トシテ之ヲ遂行サレル上ニ於キマシテ、同時ニ其遂行ニ依ッテ被害ガアリ、其被害ノ額ト云フモノガ金額トシテ僅カノモノデアルトスルナラバ、是等ニ對スル所ノ處置ヲ、政府ノ方デ何カ考ヘラレテ居ラレルカドウカト云フコトモ、農林當局ノ方ニ御伺シテ置キタイノデアリマス、更ニ此燃料問題ニ依ッテ、帝國燃料會社ハ、向フ五箇年乃至七箇年ニ依ッ

テ、漸ク百萬圓ソコノモノヲ作ル、然ルニ他ノ文書ヲ見マス、七年目ニ其位増産サレテ居テモ、其頃ノ一般ノ使用率ガ更ニ幾何級數的ニ殖エテ居リマスカラ、ヤハリ足ヲヌノグラウト云フヤウナコトモ書イテ居リマスガ、私達ハ斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、之ニ對スル御所見ハ如何デスカ、即チソレハ燃料國策ハ宜シイノデゴザイマスガ、石炭液化問題ガ、設備費ナリ生産費ガ高マルカラ、之ヲ關稅ノ引上ナリ、或ハ消費稅ノ新設ニ依テ補テ行カウト云フノハ、私共ハ間違ヒデアルト云フ風ニ解釋スルノデアリマス、此燃料國策ノ生産費竝ニ設備費ヲ安クスル他ノ方法トシマシテハ、石炭ノ國有ト云フモノガ茲ニ考ヘラレテ來ナケレバナラスト思ヒマス、御承知ノヤウニ今日日本内地デ產出サレテ居リマス石炭ト云フノハ、殆ド昭和石炭會社デアルトカ、或ハ炭坑ノ鑛業聯合會ト云ッタヤウナ、資本金ノ聯合體ニ依リマシテ、其値段ヲ吊上ゲラレ、或ハ又左右サレテ居ルノデゴザイマス、ソレ等ノ石炭ニ對スル所ノ價格ニ對シマシテ、三割ナリ五割ナリ之ヲ引下ゲテ買入レルトカ、或ハ一步進ミマシテ、斯様ナ基礎産業ハ炭坑ノ國有ナリ、或ハ其他ノ方法ニ依リマシテ、石炭液化事業ノ基

礎デアル所ノ石炭其モノヲ安ク仕入レルト云フコトニ致シマシテ、サウシテ生産費ガ今後豫定通りニ掛ルト致シマシテモ、原料ガ安ク入ッテ來マスナラバ、全體ノ市場ニ出シマス所ノ人造石油ノ値段ト云フモノモ、安クヤッテ行ケル譯デアリマス、是等ノ石炭ノ國有ヲ圖ルト同時ニ、私共ガ長年主張シテ居リマス、例ヘバ電力ノ國營ヲ圖リマシテ、全國ノ鐵道ナリ、工場ナリデ使ヒマス石炭ト云フモノガ、豐富ニシテ低廉ナル國營ニ依ル電力ニ依ッテ供給サレ、代用サレルコトニナリマスレバ、石炭ト云フモノハモット有效ニ石炭液化事業ノ方面ニ供給セラレル、一方ニ於キマシテ石炭其モノヲ國營ニサセテ置クト云フコトニナリマスレバ、恐ラク燃料國策ガ綜合サレマシテ、外國カラ現在入ッテ來マス「ガソリン」或ハ礦油ニ對シマシテ、チットモ心配ナク現在ノ儘ノ値段デ外國カラ入ッテ來テ居リマシテモ、ソレヨリモ安ク供給サレル筈ト思ヒマス、然ルニ燃料局ヲ作り、或ハ其他液體燃料國策ノ諸案ハ出來マシタケレドモ、ソレハ單ニ上ニ浮イテ居ルダケノ一案デアリマシテ、日本ノ國力全體ニ相應シタ電力問題等ヲ睨ミ合セ、石炭問題ト睨ミ合セタ綜合燃料國策ト云フモノガ確立サレテ居リマセ

ヌ爲ニ、其飛沫リヲ受ケテ、農村ハ今日電氣ヲ點ケルコトハ出來ナイ、農民ハ石油ノ倍額ノ値上リニ依ッテ、「カンテラ」ニ節約シナケレバナラスト云フ不遇ノ狀態ニ持ッテ行クト云フコトハ、私ハ折角企畫廳マデ作タ所ノ最近ノ綜合國策ノ跛行狀態デアルト思フノデアリマス、隨ッテ燃料國策ヲ徹底化スル意味ニ於キマシテ、石炭ノ國營ト同時ニ、電力國營ニ依ッテ、原料其モノヲ安クシ、其コトニ依ッテ千八百萬圓デアリマシタカ、三千萬圓デアリマシタカ、此輸入稅ヲ全然撤廢シマシテ、今迄通り外國カラ安イモノガ來マシテモ、チットモ怖クナイト云フ形ヲ執ラレル意思ガアルカドウカト云フコトヲ、一ツ御伺シテ見タイト思フノデアリマス

○三宅政府委員 農村方面デ電燈ノ代用「ランプ」ニ使ヒマス石油、此値段ガ上リマシレバ上リマスダケ困リマスコトハ、只今御話ノ通りデアリマス、此方面ノ礦油ハ實ハ現在免稅ノ特典ガナイノデゴザイマス、別途何等カノ方法ニ依ラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、私共直接關係シテ居リマシスル水産方面ニ付キマシテノ重油、而モ其油ハ重油ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、其方面ノコトニ付キマシテハ、御承知ノ通

リアノ二百萬圓ノ對策モ、特ニ其爲ニ講ジテアリマスルシ、又午前中大藏政務次官ノ御話ノアリマシタ通り、是ガ安イ而モ重油ヲ買フト云フコトノ困難ヲ緩和センガ爲ニ、低利資金ノ供給ト云フコトヲ考慮致シテ居ル次第デアリマス、他ノ點ハ他ノ政府委員カラ御答致シマス

○黑田政府委員 先程新聞用紙ノ問題ニ付テ御尋ガゴザイマシテ、王子製紙ガ暴利ヲ取ッテ居ルンチャナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、此點ニ付キマシテ私カラ一言補足シテ御答申上ゲテ置キタイト存ジマス、新聞用紙ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ、現在内地ニ於キマシテハ、王子製紙ト北越製紙ト二社ガ之ヲ供給シテ居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ海外カラノ或ル程度ノ輸入ガアルノデゴザイマス、サウシテ王子製紙ハ御承知ノヤウニ、其生産額ノ過半ヲ占メテ居リマスノデ、是ハ重要産業統制法ニ依リマス「トラスト」トシテ指定ラシテ居リマシテ、其生産トカ販賣ノ點ニ付キマシテハ、常ニ商工省ニ於キマシテ監督ヲ致シテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ重要産業統制法ガ昭和六年ニ制定セラレマシタ當時ハ、寧ロ「カルテル」ヲ助成シ

テ、産業ノ健全ヲ發達スルヲ圖ルト云フ點ニ主眼ガ置カレテアッタノデアリマスガ、其後色經濟事情モ變テ參リマシテ、現在ニ於キマシテハサウ云フ點ニ付テモ無論必要ハアリマスルガ、更ニ進ンデ「トラスト」ノ形態ニアルモノニ對シテ、之ヲ十分監督シテ行カケレバイカヌデヤナイカト云フ見地カラ致シマシテ、昨年之ヲ改正シテ、所謂「トラスト」ノ形態ニアルモノハ之ヲ指定シ、常ニ色々生産トカ販賣ニ關スル事情ヲ報告セシメテ、監督シテ居ルト云フ事情ニナッテ居ルノデゴザイマス、現ニ王子製紙ニ付キマシテハ、今回ノ新聞用紙ノ新聞社トノ契約更改ニ際シマシテモ、色々其事情ハ王子製紙ノ當事者ヲ呼ビマシテ、能ク聞イテ居リマスノデ、若シモ王子製紙ト致シマシテ不當ニ値段ヲ上ゲルト云フヤウナ事情ガアリマスナラバ、統制法ノ規定ニ依ッテ之ヲ監督スルコトガ出來ルノデゴザイマス、現在ニ於キマシテハ色々其見地カラ各種ノ報告モ徴シ、色々トサウ云フコトノナイヤウニ監督ヲ致シテ居ルノデアリマス（「ノーノ」ト呼フ者アリ）

○笠井委員 一寸關聯シマシテ……只今商工當局ノ御話デスガ、昨年ノ春ノ議會ニ於

テ重要産業統制法ヲ昨年以後五箇年間延長致シマシタ、ソレデ最早我國ニ於テハアナタノ仰シヤルヤウナ「トラスト」ヲ助長スル時代ハ過ギテ居リマス、寧ロ王子製紙ノヤウナ「トラスト」ニ對シテハ彈壓ヲ加ヘナケレバナラス時代デアル、私ハ昨年ノアノ委員會ニ於テモ、亞米利加ガ「シヤーマン」、アシチ・トラスト・ロウ「ミタイナモノ」ヲ作ッテ「トラスト」ノ彈壓ヲヤッテ居ルガ、何故サウ云フコトヲシナイカト云フコトヲ極言シタ、而シテソレハ今仰シヤルヤウニ、イヤソレハ商工省ガ實ハ見解ヲ聞イテ居ルノダトカ、偶、當事者ヲ呼ンデ、之ニ或種ノ教訓ト云フカ何ト云フカ、サウ云フモノヲ與ヘテ居ルノダカラ安心シテ呉レト云フヤウナ答辯ガアリマシタ、ケレドモ今ノ紙ノ問題ニナルト、昨年以後本年七月マデ印刷紙ノ上ッテ居ルコトハ、殆ド五〇%カラ八〇マデ上ッテ居ル、或ル場合ニハ一〇〇%以上ニ上ッテ居ルモノモアル、サウ云フヤウナコトデアリマスガ、何等アナタ方ハヤッテ居ラヌデヤアリマセヌカ、如何ナルコトヲオヤリニナリマシタカ、其實際ノ方法ヲドウ云フ風ニヤツタカ、事實ヲ教ヘテ戴キタイノデアリマス、是ハ重大問題デアリマス

○黑田政府委員 只今御話ノアリマシタヤウニ、亞米利加ニ於キマシテハ「アンチ・トラスト・ロウ」ヲ布イテ「トラスト」ヲ抑ヘテ居リマス、日本ニ於キマシテ重要産業統制法ヲ昨年改正致シマシタノモ、其精神ニ於テハ同じ意味ニ成ルモノデアリマシテ、此法律ニ依ッテ「トラスト」ニ對シテ十分ニ監督スルト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、然ラバ昨年以來ノ紙ノ値上リニ付テドウ云フ風ニシテ居ルカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ新聞用紙ノ點ニ付キマシテハ、先程一寸申上ゲマシタ王子製紙ガ其大部分ヲ占メテ居リマスルノデ、王子製紙ノ當事者ヲ呼ンデ、其色々ナ事情ヲ徴シテ居リマスルシ、必要ガアレバ色々規定ヲ發動スルコトモ出來ル譯デアリマス、併シ法律ノ第三條ニ依ル命令ヲ出サヌト云フコトハ、必シモソレヲ出スコトニ依ッテノミ效果ガアルノデハナクシテ、サウ云フ規定ガアルト云フコトニ依リマシテ、從來自由デアリマシタ産業モ相當之ニ依ッテ抑制ヲサレル、初メカラサウ云フ法律ヲ發動ヲ俟タナケレバナラスヤウナ事態ハ起サヌト云フ風ニナッテ居ルノデアリマスルノデ、政府ガ形式的ニ發動致シマセヌデモ、相當ニ其效果ハ擧ゲ得ルモノト考ヘテ居ルノデア

リマス、尙ホ北越製紙ノ新聞紙ノ供給ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ地方新聞等カラ色々陳情ノ次第モアリマシテ、北越製紙ニ對シマシテモ色々ト、コチラカラモ注意ヲ致シテ居ッヤウナ次第デアリマス、尙ホ其他ノ印刷用紙ニ付キマシテモ、是ハ一般ノ需給ノ狀態ヲ見マシテ、從來相當高率ノ生産制限ヲヤッテ居リマシタノニ對シマシテ、例ヘバ本年ノ總選舉ノ際ニ、四月ニ於キマシテハ生産制限ヲ撤廢セシムルト云フヤウナコトモヤッテ居リマスルシ、色々ト統制法ノ力ヲ用ヒマシテ、行政上ニ於テ適當ナ手段ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

○笠井委員 北越製紙ノ話モアリマスルガ、商工省ガ提出セラレタ此表ヲ見テモ、我國ノ新聞紙ノ九割四分ト云フモノハ、王子製紙ガ生産シテ居ルノデアリマスルカラシテ、他ノ會社ノ如キモノハ微々タルモノデアル、商工省ハ徒ラニ重要産業統制法ヲ作ッテ、サウシテ「トラスト」ヲ助長シ、今日マデ橫暴ヲ極メテ居ッヤウナ王子製紙ノ如キモノヲシテ、尙ホ橫暴ヲ極メシメントスルヤウナ態度ニ出テ居ルコトハ、遺憾千萬デアリマス、所ガ、今仰シヤラレテ居リマスケレドモ、當局ノヤッテ居ルコトハ生溫クテ未ダ吾々ガ承服スルヤウナコトヲヤッテ居

リマセヌ、デアリマスルカラシテ此際斷乎
トシテ政府ノ威信ヲ見セテ貰ヒタイ、王子
製紙ハ自ラ今年ハ一億圓ノ利潤ヲ上ゲテ居
ルト言ッテ居ル、當ニ紙ダケデハアリマセ
ヌ、日露戰爭ノ結果トシテ我が皇軍ノ血潮
ヲ以テ得タル樺太ノ、アノ森林ヲ伐リ出シ
テ、サウシテアノ跡ハ荒廢シテ居ルデハア
リマセヌカ、而モ其「パルプ」ト云フモノハ
獨占スル、紙ノ市場ハ獨占スル、何故ニ獨
占スルカト云フナラバ、一方ニ於テハ重要
産業統制法ニ依ッテ王子製紙ハ援助ヲセラ
レ、一方ニ於テハ高率關稅ニ依ッテ援助サ
レテ居ル、デアリマスカラシテ此際ハ新聞
紙ニ對スル所ノ關稅ノ撤廢ト云フモノハ、
極メテ結構デアリマス、デアアルカラシテ是
ハドウシテモ、印刷紙ニモ及ボシ、サウシテ
一般文化ノ進展ニ貢獻スル所ノ新聞ニ對シ
テハ、政府ハ相當ノ考ヲ以テヤルト云フコ
トヲ、一ツヤッテ貰ヒタイと思ヒマス

○田原委員 先程質問シマシタコトニ對シ
テ御答アリマセヌカラ、モウ一回繰返シ
マスガ、各官廳、本省ニ於テ御使ヒニナ
テ居ル自動車ハ外國品デアリマシテ、私共
ガ毎日見テ居リマス、或ハ「キヤデラック」
トカ「バックカード」トカ、「クライスラー」ト
云フヤウナ立派ナモノヲ以テ、政府委員ガ

御通ヒニナッテ居リマスガ、本當ニ國產品
ヲ獎勵スルト云フナラバ、自ラ官廳用ノ自
動車ヲ國產品ニシテ、部分品ナリ何ナリガ
ドノ位耐久力ガアルカドウカト云フコトヲ
試シテ見ルノガ、本當デハナイカト思ヒマ
ス、然ルニ實ニ驚クベキ何萬圓ト云フ外國
品ノ高級車ヲ使ッテ居ルト云フコトハ、矛
盾デハナイカト思ヒマス、之ニ對シテ一昨
日質問書ヲ出シタノデアリマス、諸官廳、
本省ノ現在使用中ノ自動車デ外國品ノ臺數
ト其車臺名、或ハ國產品ノ臺數ヲ質問シテ
居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ御答ガナ
イノデアリマス、之ニ對シテ改メテ各省別
ニ大體ノコトヲ御答ヘ願ヒタイと思ヒマ
ス、ソレカラ先程申シマシタコトニ付テモ
御答ガナイノデアリマスガ、製紙事業ノ國
營問題ニ付テノ見透シ、ソレカラ液體燃料
國策ニ關スル所ノ電力並ニ石炭ノ國營ト云
フヤウナモノニ付テノ御意思ノ程ヲ、一ツ
聽キタイと思ヒマス、ドナタモ御答ヘニナ
ラナイノデアリマスガ、相當各省ニ關係ガ
アリマスカラ、一ツ各省カラ納得ノ行クヤ
ウニ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ
只今同僚並井委員ノ仰シヤッテ居ルヤウニ、
最早製紙ノ如キハ全ク三井ノ獨占事業ニ
ナッテ居ル、ソレヲ其儘此巨額ナ不當利益

ヲ儲ケサセルコトヲ、重要産業統制法ガ保
護シテ居ルヤウナ形ニナルノデアリマシ
テ、是ハアベコベデアリマス、デアリマス
カラ事業ガ統制サレ、獨占サレタ際ニ於キ
マシテハ、其翌日ソレヲ國營ニ移スト云フ
位ニ來ルノガ、重要産業統制法ノ現レデハ
ナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ
對スル御意思ヲ一ツ伺ッテ見タイノデアリ
マス

○小島政府委員 諸官廳ニ於キマスル自動
車ノ内外產ノ區別ニ付テ、御尋デゴザイマ
スガ、外國車ニ付キマシテハ只今尙ホ數字
ヲ取調中デアリマスガ、官廳ニ於キマシテ
國產自動車ヲ使用シテ居リマスル狀況ヲ申
シマス、全體デ六百六十臺程ニナッテ居
リマス、大部分ハ鐵道省ノ關係ニナッテ居
リマスガ、其他ノ官廳ニ於キマシテモ大藏
省ニ於キマシテハ十八臺、陸軍省ニ於キマ
シテハ五臺、商工省、司法省、各一臺宛國
產車ヲ使用シテ居リマス、尙ホ我國ノ燃料
政策ヲ實施致シマスルニ於キマシテ、石炭
ノ問題ガ極メテ重要ナル部分ヲ占メテ居
ル、此石炭ノ今後ニ於キマスル増產並ニ其
價格ヲ適正ナラシメル意味ニ於キマシテ、
石炭ノ國營ニ付テ如何ナル考ヲ持ッテ居ル
カト云フ御尋デゴザイマスガ、洵ニ御話ノ

如ク、今後ノ燃料政策ヲ實施シテ參リマス
ル上ニ於キマシテハ、石炭ノ問題ハ極メテ
重要ナコトデアルト私共考ヘテ居リマス、
殊ニ此液體燃料ノ計畫ヲ實施シテ參リマス
ルコトニ付キマシテ、先以テ之ニ必要ナル
石炭ヲ所要ノ程度マデ、所定ノ期間ニ十分
採掘シ得ルカドウカ、出炭シ得ルカドウカ、
石炭ノ増產計畫ノ實施ニ付キマシテハ、今
後一層ノ努力ヲ必要トスルト考ヘテ居リマ
ス、又其價格ノ點ニ付キマシテモ、今後ノ
石炭ノ増產ニ付キマシテハ、其生産費等ニ
於キマシテ、中々容易デハナイヤウニ見受
ケラレマスノデ、今後ハ出來得ルダケ是等
ノ資源ヲ有效ニ利用シマスル意味ニ於キマ
シテ、其石炭ノ品質ニ應ジテ適正ナル利
用方法ヲ考ヘ、利用ノ合理化ヲ圖リマスコ
トガ、最モ必要デアラウト存ジマス、更ニ
是ガ開發ニ付キマシテモ、合理的ナル開發
ヲ致シマシテ、有ユル石炭資源ヲ殘リナク
開發シマス同時ニ、其「コスト」ヲ出來得
ルダケ引下ゲルコトニ向ハナケレバナラス
ト思ッテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニハ現
在ノ石炭業者ニ付キマシテ、出來得ル限り
是ガ國家の事業ニ付テ協力サセル必要ガア
ラウト思フノデアリマス、而シテ先程御話
ガアリマシタ石炭聯合會ノ統制ト云フヤウ

ナコトニ付キマシテモ、從來ノ實績ニ鑑ミ

マシテ、若シモ弊トシテ矯メル必要ガアル
モノガアリマスルナラバ、今後ハ一段ト注
意ヲ致シマシテ、是等ノ指導監督ニ付テ遺
憾ナキヲ期スルコトハ勿論デアルト考ヘテ
居リマス、併ナガラ之ヲ國營ニスルカドウ
カト云フコトハ、非常ナ重大ナ問題デアリ
マスガ、私共トシマシテハ左様ナ考ヘ持ッ
テ居リマセヌノデゴザイマス、電力ニ付キ
マシテハ他ノ政府委員ヨリ御答ガアラウト
考ヘテ居リマス、私ハソレダケ御答申上ゲ
マス

○田原委員 色々マダ他ニ聴キタイコトモ
ゴザイマスルガ、大體割當時間ガ切レテ居
リマスカラ、一應是デ私ノ質問ハ終ッテ置
キマス

○山道委員長 松岡君

○松岡委員 對滿事務局ト朝鮮總督府カラ
見エテ居リマスカ

○山道委員長 マダ見エテ居リマセヌガ、
外ニ來テ居ラレ方デ御尋アリマセヌカ

○松岡委員 外ノ方ニハアリマセヌ

○山道委員長 ソレデハ休ンデ居リマスノ
モ何デスカラ、次ノ方ニ續ケテ戴キマスカ
ラ、御承知願ヒマス——野中君

○野中委員 大藏省ノ方ハ見エテ居リマス

カ

○山道委員長 大藏省ハ來テ居ラレマス

○野中委員 時間ノ都合ガアリマスカラ、
極メテ簡單ニ要約ヲシテ御質問申上ゲマ
ス、私共ニ提示サレタ關稅改正ノ色々ノ項
目ヲ見マスルト、非常ナ矛盾ト撞著ガ此中
ニアルノデアリマス、殆ド是ハ考ヘテ御作
リニナッタノカドウカ、ドウ云フ目的ヲ以
テ斯ウ云フ案ヲ御提出ニナッタカ、私共ハ
非常ニ分ラナイノデアリマス、例ヘバ消費
者ノ利益ノ爲ニ關稅ヲ引下ゲル、今モ同僚
ノ等井君ガ質問ヲ致シマシタ通り、新聞紙
ノ方ハ同ジヤウニ消費者ノ利益ノ爲ニト
言ッテ引下ゲテ居リナガラ、一般ノ印刷料
紙ガ引下ゲラレテナイ、ソレカラ又木材ニ
致シマシテモ、或ハ滿洲ノ紅松ノヤウナ特
ニ競争者ノナイヤウナモノ、輸入稅ト云フ
モノガ、未ダ其儘ニ存置サレテ居ル、斯ウ
云フヤウナ工合ニ、詰リ消費者ノ利益ノ爲
ニ引下ゲラレルベキモノデアルニ拘ラズ、
其儘存置サレテ居ルト云フヤウナ事柄ガ方
方ニアル、ソレバカリデハナイ、又西川君
其他ノ方々ガ言ウテ居ル通り、礦油ノ問題
ニシロ、或ハ自動車ノ部分品ノ問題ニシロ、
是等ノ目的ト云フモノハ要スルニ國內産業
ノ確立ト云フモノガ其目的ラシイ、其確立

ノ下ニ多クノ非常ニ哀レナ人々ニ犠牲ヲ強
ヒテ居ル、サウ云フヤウナコトヲ立案シテ
居ルカト見レバ、一方ニハ同ジヤウナ性質
ノモノデアッテ、例ヘバ銅ノ輸入稅ト云フ
モノヲ下ゲテ居ル、此銅ノ如キハ私共ハ礦
油ガ引上ゲラレルト云フ其理由ガアルナラ
バ、同様ナ意味ニ於テ銅ト云フモノモ上
ゲラルベキモノデナイカト思ッテ居リマス、

政府カラ提出シマシタ此材料ニモアリマス
通り、日本ハ以前ニ於キマシテハ銅ノ輸出
國デアッタ、昭和六年ニハ金額デ約二千六
百萬圓ノ輸出ヲシテ居ル、昭和七年ニハ二
千三百萬圓ノ輸出ヲシテ居ル、斯ウ云フ風
ナ輸出國デアリマシタガ、一面ニ於テ需要
ノ増加ト、一面ニ於テハ日本ノ製鍊技術ノ
拙劣ナ爲ニ、此需要ニ應ズルコトガ出來ズ
シテ、昭和九年ニ於テハ國內需要ノ中僅ニ
六三%、十年ニハ五八%ト云フ工合ニ下ッ
テ居ル、若シ此關稅ト云フモノガ前ニ言ウ
タ通り、國內産業確立ノ爲ニ作ラレルモノ
デアルトスルナラバ、礦油ヤ自動車ノ部分
品ノ關稅ノ引上ヲ計畫サレテ居リマスト同
ジヤウナ趣旨ヲ以テ、斯ウ云フ國防上必要
ナル石油ナリ銅産業ト云フヤウナモノヲ獎
勵スル意味ニ於テ、却テ關稅ノ引上ヲ爲ス
方ガ、私共ハ理論的ダト考ヘテ居ル、ソレ

ニ拘ラズ今度ハ此銅ノ關稅ノ引下ヲシテ居
ル、此引下ヲ爲スッタノハドウ云フヤウナ
目的カラ來タノデアリマスカ、其理由ヲ承
リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 只今ノ御質問、突然トシ
テ此法案ヲ見ルト洵ニ御尤ノ御尋ト思ヒマ
ス、或モノハ稅額ヲ上ゲ、或モノハ輕減シ、
或モノハ撤廢スル、此間ニ果シテ一定ノ主
義方針ト云フモノガアルカドウカ、斯ウ云
フ御尋デ一應御尤ト存ジマス、御承知ノ通
リ關稅ヲ賦課スルニハ目的ガ色々アルノデ
アリマシテ、或ル場合ニハ財政上ノ收入ヲ
目的トシテ課シテ居ル、或ル場合ニハ國內
産業保護ノ見地カラ課シテ居ル、最近ニ於
テハ通商擁護法ノ發動ト云フヤウナ色々ナ
原因ニ依ッテヤッテ居ルノデアリマス、此度
ノ關稅率ノ改正モ其目指ス所、其目的トス
ル所ガソレ——異ッテ居ルカラ、斯ウ云フ現
象ヲ呈シテ居ルノデゴザイマス、礦油ニ付
キマシテハ、是ハ度々繰返サレテ居リマス
通り、燃料國策ノ見地カラドウシテモ或ル
程度礦油ノ價格ノ引上ガ、目下ノ情勢ニ於
テ必要トシテ居リマス、ソレカラ砂糖ノ關
稅ニ付テハ——砂糖ノコトニ付テハ御尋ガ
アリマセヌデシタガ、一言觸レテ置キマス
ガ、國內ノ産業トシテ既ニ確立シテ居リマ

スカラ、或ル程度輕減シテ、一般ノ消費者階級ノ爲ニ斯ウ云フコトガ必要デハナカラウカ、ソレカラ銅ニ付キマシテハ、前ニハ日本ニモ滯貨ガ相當アリマシテ、是ノ處分ニ困ッテ居タ時代ガアリマス、昭和五六年ノ頃デアリマシタカ、相當方法ヲ講ジテ輸出シタコトモアリマス、併シ最近、銅ハ幾分足ラヌト言ッタ方宜イノデハナイカト思ヒマス、殊ニ近時重工業ノ發達ニ連レマシテ、段々不足ヲ來シマシテ、昨今餘程ノ騰貴ヲ來シテ居ルノデアリマス、此儘ニシテ置キマスルト、重工業其他ノ國內産業ノ進展上支障ヲ來スノデハナイカ、一面ニ於テ三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢シテモ、國內ノ銅ノ産業ハ脅威ヲ受ケル程度デハナイ、基本ノ關稅其モノハ餘程高率ナノデアリマシテ、隨テ此三割五分ノ關稅ヲ撤廢スルノハ、寧ロ時宜ニ適シタコトデハナイカ、斯ウ思ハレマス、我國ノ産業ノ發達ノ程度、物價ノ騰落ノ趨勢、消費者ノ受クル影響、サウ云フ各方面ノ觀點ニ立チマシテ、最モ妥當トスル所ヲ狙ッテ居ル次第デアリマス

○野中委員 大體氣持ハ分リマシタ、氣持ハ分ッケレドモ、サウ云フ氣持ダカラ、私共ハ尙ホ斯ウ云フ風ナコトハ餘リ面白クナイト、斯ウ思フノデアリマス、恐ラク此銅

ノ關稅ヲ引下ゲヨウト云フ氣持ハ、重工業ガ發達スル、ソレニ對シテ銅ガ非常ニ使ハレル、其銅ガ而モ非常ニ高クナルヤウダ、ソレダカラ銅ヲ下ゲテ需要者ニ満足ヲサセヨウ、詰リ消費者側ノ利益ノ爲ニ關稅ヲ引下ゲルノダ、斯ウ云フ風ナ氣持ノ下ニ爲サツタノデアラウト思フ、ソレナラバ尙ホ斯ウ云フ關稅ノ引下ノヤウナ姑息ナコトヲセズニ、國策的ニモウ少シ供給ヲ餘計ニスルト云フヤウナコトヲ御計畫ニナラナイカ、此考ヲ持タナイカ、殊ニ重工業ニ依ッテ銅ガ要ル、此一ツノ事實ニ依ッテ、詰リ銅ガ國防上ニ於テ必要ナモノデアルト云フコトハ、御説明ニナル通り自ラ御認メニナル所デアル、サウスレバ國防上ニ於テ必要ナモノナラバ、成ベク國內ニ於テ自給自足シヨウト云フヤウナ計畫ヲ立テナケレバナラヌ、今年ノ議會デモ製鐵事業法ト云フモノガ出テ、少クトモ國內ニ於テ自給自足ヲ圖リタイト云フ氣持カラ、色々ナコトヲ爲サレル、又燃料國策ト云ウテ三億圓ノ金ヲ使ッテ、此十年間ニ日本ノ「ガソリン」ヲ國內デ造ラウト云フヤウナ御計畫ヲ以テ案ヲ出サレテ居ル、サウ云フヤウナ考ナラバ、同ジク内地ノ重工業ニ最モ必要ナ銅、サウ云フ風ナ銅ナドモ、ヤハリ自給自足ヲヤルト云

フヤウナ御計畫ヲ御立テニナルガ宜イト思フ、ソレヲ關稅ヲ下ゲテ——成程關稅ヲ下ゲルコトニ依ッテ、内地ノ價格ハ下ガル、價格ハ下ガルガ、下ガルコトニ依ッテ非常ナ弊害ヲ伴ッテ來ル、ソレハサナキダニ斯ウ云フ風ニ生産量ノ減少シツ、アル日本ノ銅ハ、益、國內生産ト云フモノガ少クナルノデハナイカト思フ、併シアナタガ御認メノ通り、少クモ幾ラカ高クナツタノデ、昭和十年カラ十一年ニ於テハ、生産量ガ五二%カラ六〇%ト云フ八%バカリモ殖エテ居ル、詰リ物ガ高ケレバ、引合フナラバ銅山ニ關係シテ居ル人ハ、其銅山ヲドシ——採掘スル、引合ハナケレバ廢礦スル、是ハ自然ノ原則デアル、ソレデアルカラ、今高イカラ——高イト云フコトハ成程好クハナイガ、併シ此ノ高イコトニ依ッテ、恐ラク日本ノ產銅界ト言フカ、銅ノ生産ト云フモノハ、非常ニ私ハ増シテ來ルダラウト思フ、ソレデ昭和六年七年ト同ジヤウナ工合ニ、日本ノ國內ノ需要ヲ償ッテ、尙ホ輸出シ得ルヤウナ狀態ニマデ行クノデハナイカト思フ、ソレヲ今茲デ大事ナ生産物ノ値ヲ下ゲテ、外國カラドン——輸入シテモ宜イ、銅ナドハ安クナツテモ宜イト云フコトニナツタナラバ、日本ノ銅山ノ生産ト云フモノハ、

此程度以下ニ沈淪シテシマッテ、一朝事ガ有ツタ場合ニ、銅ノ供給ガ出來ナイヤウナコトニ追込マレルノデハナイカト思フ、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ事ニ付キマシテハ、當局ハ唯單ニ關稅ヲ設定スルト云フダケデ満足シテハイカヌ、其關稅ヲ設定スルニ付テハ何處ニ目的ヲ置クカ、其目的ガ日本ノ大キナ國策ニ合致スルカドウカ、ソレヲ見テ總テ決メテ貫ヒタイト思フ、私共ハ銅ナドハ是ハ寧ロ現在ニ於テハ、成程幾分高價デハアリマス、應四百五十圓モシテ居リマスカラ高イ、ケレドモ之ヲ更ニ此儘或ル程度ニ於テ維持シテ、國內ノ生産ヲ増スト云フヤウナ國策ヲ執ル方ガ、宜イノデハナイカト思フノデアリマス、之ニ對スル當局ノ意見ヲ伺ヒマス

○大矢政府委員 今度ノ銅ノ關稅ハ、三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢デアリマス、最近ノ國內ノ銅ノ需要ノ趨勢、其價格騰貴ノ程度等カラ考ヘマシテ、此際三割五分ノ附加關稅ヲ撤廢スルノハ、時宜ニ適シタ處置デアル、撤廢シタ後ニ於テ國內ノ銅ノ産業ガ此處當分ノ間ハ、決シテ外國カラモ脅威ヲ受ケルト云フコトノ虞ハナイト、斯ウ觀テ居ル次第デアリマス

○野中委員 今ノ税金ノ撤廢ハ、附加稅ノ

撤廢デアリ、僅少ナル金額ニ過ギナイカラ、是ハ此位ハ宜カラウト云フヤウナ御話デアリマス、併ナガラ此附加税ガ適當リニシマスト、約四十一圓バカリニナッテ居ル、今ノ一連四百五十圓ノ銅ニ對シテハ相當ニ高率ナ稅額ノモノデアル、殊ニ日本ニ於ケル今ノ銅ノ生産ト云フモノハ、内地カラ採掘シマシタ銅ニ依ッテ生産スルト同時ニ、礦石ノ輸入ニ依ッテ此銅ヲ製鍊シテ居ル所ガ可ナリアル、本年度ニ於キマシテモ約二十四萬噸位礦石ハ輸入サレルガラウト思フ、金銀ヲ七%ニシテ、其中カラ九五%ノ銅ヲ採ルトシテモ、一連ニ對シテ六六・五%、是レ位ノ銅ガ入ッテ居ル、ソレカラ此銅ノ礦石ハ主トシテ比律賓或ハ智利カラ入ッテ來テ居ル、其價格ナドモ、銅ノ礦石ノ値段ト云フモノハ、世界何處デモ殆ド變リハナイ、「パーセンテージ」ニ依ッテ變リハアリマセヌガ、先ヅ五十五圓デ買ッテ來テ居ルノデハナイカト思フ、併ナガラ此五十五圓ノモノヲ、日本デ製鍊シテ、而モ現在ノ市價ニ振當テ、見ルト、殆ド利益ト云フモノハ少ナイ、是ハ恐ラク商工省デハ、輸入會社ノ方カラ實際ノ表ヲ御取リニナッテ居リマセウカラ、ドレ位ノ利益率ガアルカト云フコトハ御分リニナルガラウト思フ、先

ヅ輸入會社ニ於テ「パーセント」四十五カラ七八位ノ利益率ニシカナッテ居ナイ、ソレデアリマスカラ、若シモ此關稅ヲ四十一圓位ノ附加税ヲナクシテシマッタラバ、此礦石ノ輸入ト云フコトハ、今日ニ於テハ當分見込ガナイ、而モ此礦石ノ輸入ニ依ッテ製鍊銅、電氣銅ノ輸入スベカリシモノヲ輸入シナイト云フト、或ハ此銅ヲ輸入スル船腹ハ日本ノ船腹ヲ利用シマスカラ、運賃モ外國ニ拂ハズ濟ム、或ハ内地ニ於テソレヲ製鍊シマスカラ製鍊賃、噸七圓五、六十錢デアリマセウカ、是モ日本ノ内地ニ於テソレガ使用セラレル、即チ礦石ノ輸入ニ依ッテ拂フモノハ、噸五十五圓位ノ原礦石ノ値段位シカ拂ハナイ、アトノモノガ悉ク日本ノ内地ニ於テ用ヒラレル、ソレヲ反對ニ現在礦石ト同様ニ必要ナル電氣銅ヲ輸入スルナラバ、其人件費モ或ハ運賃モ、皆是ハ外國ニ持ッテ行カナケレバナラス、現在日本ニ於テ——マダ正確ナル計算ハ致シマセヌケレドモガ、千五、六百萬圓ノ礦石ニ依ッテノ利益ガアルノデヤナイカト私共ハ考ヘル、ソレガ此引下ニ依ッテ礦石ノ輸入ガ出來ナイコトニナッタナラバ、是ハ由々シキ所ノ大事ガラウト思フ、是ハアナタノ方デモ數字ヲ持ッテ居リマセウカラ能ク御調べ

ニナッテ見レバ分リマス、外國カラ輸入スル輸入業者ニ取ッテハ、絶大ナル打撃ダト思ヒマス、内地ニ於ケル銅ノ生産ノ障礙デアルバカリデナクテ、外國カラ礦石ヲ輸入スルニ對シテモ非常ナ障礙トナルノデアリマス、又斯ウ云フ風ナ場合ニ、斯ウ云フ輸入ヲスルコトニ依ッテ、一面ニ於テハ智利カラ三十萬カラ四十萬ノ金ヲ日本デ製鍊ヲヤッテ居ル、是ハ或意味ニ於テ金ノ保有ニ非常ニ役立ツ、サウ云フヤウナ合デ外國カラ礦石ヲ輸入スル人々ハ、此關稅ノ引下ニ依ッテ殆ンド業務ガ出來ナイコトニナル、隨テ日本ノ礦石ノ輸入ニ依ッテノ銅ノ生産ト云フモノハ、或ハ無クナルノデハナイカト考ヘラレル、サウ云フコトデ日本ノ今日ノ銅國策ニ於テ、非常ナ影響ガアルノデアルト云フコトヲ考ヘマスカラ、斯ウ云フ風ナ場合ニハ能ク全般ノコトヲ考ヘテ、御計畫ナサラナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、政府ノ方デハ銅ノ關稅ニ對シテ引上ヲ行フト云フ御意思ヲ持ッテ居リマスカ

○大矢政府委員 銅ノコトニ付キマシテハ、主トシテ商工省ノ方カラ御答ヲ戴イタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、私ノ承知シテ居ル範圍ダケヲ御答致シテ置キマス、從來南米方面ヨリ輸入シテ居タモノハ、運賃ノ昂騰ト云フヤウナ事情ガアリマシテ、附加關稅ノ存否如何ニ拘ラズ、最近輸入ハ殆ド絶無ニナッテ居ルト承知シテ居リマス、ソレカラ加奈陀產ノ礦石ニ付キマシテハ、是ハ三割五分ノ附加關稅ハ當然考慮ニ入レタ上デ契約セラレテ居ルノデゴザイマシテ、今度ノ撤廢ニ付テ相當影響ハ受ケルノデヤナイカト思ヒマスガ、其加奈陀トノ契約ハ相當有利デアリマスカラシテ、今附加關稅ヲ廢止シテモ、ソレ程條件ガ不利トナルモノトハ考ヘラレナイ、隨テ今計畫中ノモノモ中絶スル虞ハナイ、先ヅ三割五分ノ附加關稅撤廢ニ依ッテ、銅礦ノ輸入ニ對シテハ多少ノ影響ガアルニハアリマスケレドモ、銅界全般ヲ通觀シテ見マシテ、此際此附加關稅ノ廢止ハ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居リマス

○野中委員 加奈陀ノ礦石ニ付テハドノ位儲カッテ居ルカト言フト「シフ・ハンブルグ」相場ハ〇%ノ價格デ以テ内容ノ銅ノ九〇%建デ買ヒマスカラ、其差ト云フモノガ一寸十二三圓ハゴザイマセウ、ソレデアリマスカラサウ云フヤウナ關稅ニ於ケル所ノ利益、礦石ハ無稅デアリマスカラ、其關稅ニ於ケル利益、此賣買價格ノ幾分有利ナ點ガソレヲ「カバー」シテ、漸ク礦石輸入會社ニ

於テ一分三四厘位ノ利益ニナリ居ル狀態
デアル、ソレデアリマスカラ加奈陀ノ鑛石
ニ致シマシテモ、其附加税ノ撤廢ガアッタ
場合ニ於テハ、殆ド輸入ガ出來ナイガラウ
ト思フ、二十三圓位ニシカ付カナイ所ニ、
施四十圓ノ附加税ガ撤廢サレタ時ニハ二十
圓ノ損ニナル、ダカラ輸入ハ出來ナイ、斯
ウ云フ結果ニナルト思フ、殊ニ南洋ニ於テ
モアリマスガ、南洋ノヤツハ運賃ガ非常ニ
安イカラ幾分ノ取柄ハアル、何レニ致シマ
シテモ斯ウ云フ風ナ、現在ニ於テ必要ナ日
本產ノ銅ヲ生産出來ルヤウナ仕組ノ、サウ
云フコトガ先決問題、續イテハ鑛石ヲ輸入
スルト云フコトガ第二次的ナ問題、ソレガ
關稅ノ附加税ノ撤廢ニ依ッテ、非常ナ打撃ヲ
受ケテ、恐ラク銅業者ト云フモノハ、是カ
ラ先キ立ッテ行クカ行カナイカ疑問ダト考
ヘル、是ハ日本ノ國策トシテ私共ハ寧ロ國
防上ノ計畫カラ見ルナラバ、或ハ燃料國策
ヨリモ、ヨリ以上ト言ウテモ宜イモノデハ
ナイカト思フ、之ヲ等閑ニシテ放ッテ置イ
テ、サウシテ此案ヲ出スト云フヤウナコト
ハ、私共カラ言フナラバ、一體何處ニ關稅
ノ中心ガアルノカ、目的ガアルノカ分ラ
ヌ、色々ナ事情ニ依ッテ關稅ヲ決メルンダ
ト言フガ、成程事情ハ色々アル、或ハ消費

者ノ爲ニ、或ハ生産業ノ確立ノ爲ニ、或ハ
關稅收入ノ増加ノ爲ニ、色々ト理由ハアル
ケレドモ、何故ニソシナ關稅ヲ設定シタカ
ト云フコトヲ、私共ハ非常ニ疑問ト思フ、
現在ニ於テハ成程幾分需要ガ増加シタコト
ニ依ッテ、高價ニハナッテ居リマスガ、高價
デアレバ生産増加スル、生産増加ニ依ッテ
直グト價格ト云フモノハ下落スル、餘リ政
府ハ統制トカ何トカ云フ餘計ナコトヲ言ハ
ズニ、斯ウ云フ風ナ事柄ハ、或ハ自然的ニ
委シテ置イタ方ガ宜イノデハナイカトモ考
ヘラレル、或ハ獎勵スルナラバ徹底シテ一
定ノ方針ヲ極メテ、サウシテ獎勵シテ行ク
方ガ宜イノデハナイカト思フ、ソレデアリ
マスカラ能ク御注意ニナッテ、寧ロ是等ノ
銅關稅ノ如キハ、附加税ヲ撤廢スルコトヲ
止メテ、舊關稅ノ儘存置スルコトガ、國策
ノ爲ニ宜イノデハナイカト考ヘマス、モウ
一遍政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

五日ニハ七十六圓八十錢、二十五圓五十錢
ノ騰貴ニ當ッテ居リマス、ソレカラ三割五
分ノ附加關稅相當額ハ百斤ニ對シテ二圓四
十五錢デアリマス、二十五圓五十錢ノ騰貴
ノ場合ニ二圓四十五錢ノ附加關稅ヲ撤廢シ
テ、ソレダケ輸入價格ガ下ッテモ、國內ノ
產銅業者ハ脅威ヲ受ケナイ、又銅ノ今後ノ
發達モ阻害スルコトハナイト思ッテ居ル次
第デアリマス

メテモ構ハヌト思フガ、今日生産擴充ノ過
程ニ在ル所ノ工業ヲ、途中ニ於テ挫折セシ
メルヤウナコトハ、國家トシテ採ルベキコ
トデハナイト考ヘマス、ソレデアリマスカ
ラ冀クハ此關稅ハ撤回シテ、將來或ハ昭和
六、七年ノヤウナ工合ニ、内地デ生産シタ
モノデ市場ニ有餘ルヤウナ時ガ來レバ、其
時ニ初メテ關稅ノ引下ヲ爲スベキデハナイ
カト思フ、要スルニ此關稅ヲ今引下グルト
云フコトハ、時機尙早デハナカラウカ、斯
ウ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意
見ヲ伺ヒタイ

○大矢政府委員 銅ノ關稅ノ引下、或ハ撤
廢シタラドウカト云フコトハ、此前ノ七十
議會ノ關稅ノ委員會デ、委員ノ方カラ御意
見ガアッタデアリマス、私共モ十分研究
シテ見タノデアリマスガ、最近ノ情勢ニ照
シマシテ、此際此程度ノ關稅ノ低減ヲスル
ト云フコトハ、適當デアルト認メタ次第デ
アリマス

○野中委員 政府ハ其意向ダシ、ドウモ話
ガ同ジ道ヲ往復シテ居ルニ過ギマセヌ、要
スルニ吾々ハ此關稅ハ尙早デアルト云フコ
トヲ自分デハ考ヘテ居ルガ、政府トシテハ
撤回シヨウトカ、改正シヨウトカ云フ御意
思ガナイヤウデアリマスカラ、私ノ質問ハ

此程度ニ致シテ置キマス

○山道委員長 松岡君、對滿事務局ノ青木君、朝鮮總督府ノ林財務局長ガ見エラレマシタカラ、此際御質問ヲ願ヒマス

○松岡委員 北鮮ノ清津、羅津、雄基、此三ツノ港ハ北鮮ノ鐵道ト共ニ滿鐵ガ管理シテ居ルヤウニナツテ居リマス、大連ハア、云フ事情デ特別ナ港デアロコトハ私共承知シテ居ルノデスガ、清津ト雄基ト羅津ハ後デ出來タモノデアツテ、極メテ迅速ニ之ヲ發達セシメテ、東滿洲、北滿洲ノ方面ニ進出シテ行ク港トシテ十分ニ助長シテ行カネバナラスト思フノデアリマス、殊ニ東北六縣、北海道方面カラ大連ノ自由ナルアノ港ニ進出シテ行クト云フコトハ、喜バシイコトデアリマスケレドモ、距離ノ關係上中々容易ニ此處マデ行クトハ難カシイ、ナケレバ已ムヲ得ナイガ、幸ニモ北鮮ノ清津、雄基、羅津ガアツテ、東滿洲、北滿洲方面ニ進出スル好イ機會ヲ得テ居ルノデアリマス關係上、東北及北海道ハ悉ク此北鮮ヲ利用セントスルノハ當然デアラウト思フ、東北ト北海道ハ從來非常ニ滿洲方面ニ遅レテ進出シテ居ルノデアリマスガ、昭和六年以來此三ツノ港ヲ利用スルコトニ依ツテ、非常ニ東北民トシテハ喜ブベキ絶好ノ機會ニナツテ來

テ居ルノデアリマス、所ガ如何ニモ大連ト北鮮ノ清津、雄基、羅津ト云フモノガ、埠頭ノ使用料或ハ貨物ノ取扱方ニ付テノ運賃關係ハ、同じク滿鐵ガ支配シテ居ルニモ拘ラズ、大變違ツテ居ル、埠頭ノ使用料ノ如キハ大連ガ一噸當リ二十四時間マデハ一錢デアアル、然ルニ北鮮ノ三港ハ一噸當リ十二時間毎ニ一錢デアアルカラシテ、詰リ倍出サネバナラスト云フコトニナツテ居ル、同じ日本ノ南ノ方々ガ、北支或ハ南滿方面ニ進出シテ行クニハ、大連ト云フ立派ナモノガアツテ、サウシテ半額デ積下シモスルトガ出來ル、埠頭使用料モ半額デアルト云フヤウナ工合ニナリマス、東北及北海道ノモノハ、イト、遅レテ居ルノニ尙ホ進出スル機會ガ政治的ニ拒マレテ居ルト云フコトニモナルノデアリマス、ト同時ニ又北鮮及東滿洲ノ人々ハ、斯ウ云フ政治的ニ同じ國民デアリナガラ、アノ方面ニ進出シテ行クモノハ、餘計ニ金ヲ出サネバナラスト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シテ朝鮮總督府ハドウ云フ御考デゴザイマスカ

○林政府委員 只今ノ御尋ハ、北鮮三港ノ地理的使命ト申シマスカ、ソレニ鑑ミマシテ大連ト同様ノ程度ニ諸事便宜ヲ與ヘテ、

貨客ノ交通ニ便ズルヤウニト云フ御趣旨ノヤウニ拜承致シマシタガ、御意見ノ點ニ付キマシテハ、大體ニ於テ總督ニ於キマシテモ同様ノ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從來爲シ來リマシタ所ノ色々施設モ、其理想ニ向ッテ一步ヅ、前進シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、今日尙ホ諸般ノ點ニ於キマシテ、色々差異モアリマスガ、是ハ色々ナ關係カラ起ッテ參ッテ居ルコトデアリマシテ、今日直チニ大連ト北鮮三港トノ情勢ヲ同一ニスルト云フコトハ、色々難カシイコトガアルヤウニ存ズルノデアリマス、併ナガラ理想ヲソコニ置キマシテ、少シヅ、少シヅ、デモ出來得ル限りニ於テ、色々ナ障礙ヲ排除致シマシテ、大連ト北鮮三港トノ距離ヲ近メテ行クト云フコトニハ、總督ハ絶エズ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、今回提案致シマシタ改正案ノ一部ニ現レテ居リマス三港ニ於ケル改裝、仕分ノ出來マシヤウニ致シマスコトモ、ヤハリサウ云フ理想ニ基キマシテ、今回提案ヲ致シタヤウナ次第デゴザイマス

○松岡委員 大連ハ關稅ハ勿論アノ通りデアリマセスガ、北鮮ハ關稅ハウルサイコトガアルバカリデナク、今ノヤウナ工合ニ、埠頭使用料、或ハ荷上料、其他萬般ニ付テ

高ク拂ハネバナラスト云フ、東北及北海道方面ガ同一日本人デアリナガラ、頗ル不遇ノ境遇ニ置カレテ居ルト云フコトヲ深く認識セラレテ、改善ニ理想ヲ持ッテ進ンデ行カレルト云フコトヲ承リマシテ、私其實現ノ日ノ一日モ早カラシコトヲ願フノデアリマス、羅津ガドウシテアンナ風ニ工事が中途ニナツテ居ルカ、此羅津ノ港ヲ急速ニ拵ヘルト云フ考ハオアリニナツテ居ルカ、ドウデアリマスカ、朝鮮總督カ或ハ對滿事務局カラ、御答願ヒタイト思ヒマス

○林政府委員 羅津ノ築港ハ御承知ノ通り、滿鐵ニ於テ工事が始メタノデアリマス、現在ハ第一期工事ニ著手致シマシテ、其工事中デアリマス、現在出來テ居リマスノガ埠頭ガ一基ダケハ完成致シテ居リマス、次ニマダ工事中デアリマス第一期工事が完成致シマスレバ、是デ三百萬噸ノ貨物ヲ吞吐スルコトガ出來ルヤウニナルノデアリマス、又荷物ノ出廻リノ狀況ニ依リマシテ、將來ノ計畫モ滿鐵ニ於テハ樹テラレテ居ルヤウデアリマス、要スルニ私共ハアノ港ガ出來マシタ以上ハ、其港ヲ十分ニ活用シ得ルダケノ荷物ト人トヲ吸收スルコトニ、只今ハ專念致シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス

○松岡委員 製鐵事業ノ關係カラ言ウテ、

茂山ノ鐵礦ヲ開發シテ、清津ニ銻鐵爐ヲ造ルト云フヤウニ進展セネバナラスノデアリマスガ、北鮮ノ鐵道ハ滿鐵ガ管理シテ居ル、茂山カラ清津マデノアノ輕便鐵道ハ私設鐵道デアル、是ハ買收スルカ、或ハドウスルカト云フ一定ノ方針ハ、此製鐵事業ノ進展ト共ニ、又北鮮開發ノ上カラ考ヘテモ、國策ノ上カラ考ヘテモ、相當ニ計畫ガオアリニナルト思ヒマスガ、承ルコトガ出來レバ結構デアリマス

○林政府委員

茂山ノ築港開發ヲ致シマス

ニ付キマシテ、現在朝鮮鐵道ガ持ッテ居リマス私設鐵道ヲ、相當廣軌ニ改築シナケレバナラスノデアリマス、改築致シマスノニ私設鐵道ヲシテ之ヲヤラセマス、一部分私設鐵道、一部分滿鐵ノ委任經營ノ鐵道ト云フコトニナリマスノデ、其點ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテ、鐵道當局ガ是等ノ關係方面ト、目下慎重ニ協議ヲ重ネテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ鐵道會社自體ト致シマシテハ、其經營ノ方式ノ如何ニ拘ハラズ、茂山ノ開發ト云フコトハ、ドウシテモ急ヲ要スルノデアルカラ、此事實ニ鑑ミテ工事ノ一部分ニハ、自分ノ手デ出來ルダケ早ク著手致シタイト云フ計畫ヲ、

現ニ進メテ居ル狀態デゴザイマス

○松岡委員

大連ニ於ケルガ如ク、北鮮ノ三港ノ奥地ノ滿洲カラ受ケル豆粕其他ノモノニ付テハ、商品取扱上ニ付テ彼處ニ商品市場ヲ設置スルコトニ付テ御考ハ、如何デゴザイマセウカ

○林政府委員

只今ノ所御尋ノ問題ニ付キマシテハ、マダ研究ヲ致シテ居リマセヌ、將來ノ問題トシマシテハ、マダ問題ガ出テ來ルカト存ジマスガ、特ニ豆ノ問題ニ付キマシテ、サウ云フモノヲ設置スルト云フコトニ付テハ、マダ考ヘテ居リマセヌ

○松岡委員

此度北鮮ニ關スル所ノ法案ノ一ツガ、既ニ拵ヘタル羅津其他ノ三港ヲ十分ニ活用セシメヨウト云フ問題ノ一步ニ進シタト云フコトデアルナラバ、當然大連ノ如ク奥地ヲ控ヘルアノ北鮮ノ三港ニハ、サウ云フ商業上ノ特別ナル取引市場ガ設ケラレナケレバ、本當ニ機能ヲ發揮スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是ハ只今研究中ダト言ッテ居ラレルガ、若シ御方針ガ定ッテ居ラナカッタナラバ、速ニサウ云フヤウニ誘致スルト云フコトガ、アノ三港ノ能力ヲ更ニ發揮セシメ、且ツ民族ヲ發達セシムル所以デナカラウカト思フノデアリマス、現在東北及ビ北海道方面ノ者ガ、アノ

方面カラ進ンデ行ッテ、殆ド移民ヲ一手ニ

引受ケ居ル位デ、航路モ新潟カラ從來三本行クノヲ四本ニ増船シテ、而モ船ガ悉ク滿船シテ居ル、皆悉ク東北ノ者ガ移民シテ居ル、斯ウ云フ關係カラ言ッテ、東北ノ者ガ東滿洲、北鮮ト云フモノヲ日本海ヲ挾ンデ、三位一體ニ本當ニ行カフト云フ此氣魄ヲ善用シテ行ッテ、助長セシムル必要ガアラウト思フノデアリマス、之ニ付テ相當ニ、御研究バカリデナク、其片鱗ヲ見セテ戴クト云フコトガ、アノ港ノ機能ヲ發揮セシムル上ニ於テ、必要ト思フノデアリマスガ、是ハ

私ノ希望ヲ申上ゲテ置キマス、更ニ只今申上ゲタニツノ質問ハ、裏日本東北ニ洵ニ港ガ少イ、從來表日本及ビ南ノ方面ニノミ港ガアリマシテ、國家ノ施設ガ行ッテ居ル、今日ノ如キアノ大キイ滿洲ヲ控ヘテ居ルニモ拘ラズ、東北北海道方面カラ北鮮ニ行ク貨物船ハ、一箇月僅ニ一回シカナイ、中々其品物ヲ送ルニ付テモ鐵路ヲ以テ行カナケレバナラスカラ、運賃ガ非常ニ掛ル、大變ナ損害デアル、新潟カラ行キマスバカリデナク、或ハ酒田カラ、或ハ船川カラ、或ハ深浦カラト云フヤウニ、東北裏日本ノ港ノ施設ガ、此北鮮三港ト相關聯シタ重要ナ問題ナノデアリマス、ソレデ今ノヤウナ北鮮三

港ノ能力ヲ十分ニ發揮セシムル爲ニ、商品市場ヲ特別ニ考慮シテ戴ク必要ガアリハセ

ヌカ、斯ウ云フ趣旨デアリマスカラ、之ヲ能ク御含ミ戴キマシテ、私ハ是デ質問ヲ終リマス

○山道委員長 渡邊君

○渡邊委員

シツコイヤウデスガ、先刻笠井君ノ御質問ニ對シテ、日本ノ重要産業統制法ハ、最初ハ「カルテル」ヲ保護スルヤウナ傾キガアッタガ、段々「アンチ・トラスト」ノヤウナ機能ヲ發揮シテ、今日デハ御時世ノ進展ハ、其方ニ重點ヲ置クヤウニ御考ヘニナッテ居ルヤウニ、私共承ッテ居リマス、サウスルト御承知ノヤウナ紙ノ暴騰デアリマス、紙ハ世界的ノ暴騰デアリマスルカラ、關稅ノ如何ニ依ッデノミ左右セラレルトハ申上ゲマセヌガ、斯ウ云フヤウナ非常ナ暴騰ニ際シテ、此重要産業統制法ノ、所謂「アンチ・トラスト」ノヤウナ方面ガ強ク働カナケレバナラスト云フ時世デヤナイカト思フノデスガ、アナタノ先刻仰シヤッテ居ルコトヲ聞キマスルト、サウ云フ監督モシテ居ル、又監督スル意思モアルト云フガ、今一億モ儲ケテ居ルト云フヤウナコトハ、昨日ヤ今日分ッテ話デヤナイ、モウ既ニ昨午カラノ問題デアリマスガ、ドウ云フ監督ヲ、

ドウ云フ時期ニト、實例ヲ仰シヤッテ戴キタイ、例ヘバ王子製紙ノ誰々ヲ呼ンデ斯ウ云フ風ニ紙ガ上テ來チヤイカヌデヤナイカ、是ハ現在ノ時代ニ於テ妥當ナル上デ方デヤナイト云フ風ナコトヲ監督ナサツタ、警告ナサツテ居ル事實ガアルニ違ヒナイ、實例ガ言ハレヌ譯デモナイデセウ、若シ祕密デ言ハレナイモノガアルナラ、言ハレル範圍ノコトダケデモ聞カシテ貰ヒタイ

○黒田政府委員 御答致シマス、紙ノ値段ガ上ツテ來タニ付キマシテ、重要産業統制法ニ依ッテ如何ニシテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、先程モ御答申上デマシタヤウニ、王子製紙ハ現在「トラス」ノ形態ニ在ルモノト云フコトニナツテ居リマシテ、其指定ガシテアル譯デアリマス、ソレデ之ニ對スル監督ハ具體的ニドウカト云フ御話デゴザイマシタガ、御承知ノヤウニ統制法ニ依リマシテ定期ニ其生産デアリマス、カ、販賣デアリマス、ト云フ實情ニ付テノ報告ヲ徴シテ、常ニ監督ヲシテ居リマスル外ニ、必要ノアリマスル場合ニハ當事者ニ役所ニ出テ來テ貰ヒマシテ、能ク事情ヲ聽クト云フコトヲヤッテ居ルノデゴザイマス、先程モ御答致シタノデアリマスガ、本年ノ六月ニ各新聞社トノ間ノ契約ノ更改期

ガ參リマシタノデ、其際ニ新聞用紙ノ値上ヲシナケレバナラスト云フ御話ヲ聞キマシタノデ、其事情ニ付テ色々説明ヲ求メル爲ニ會社ノ當事者ニ來テ貰ッテ、能ク御話ヲ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、尙ホソレニ付キマシテ色々ナ事情ハ之ヲ調ベテ置キマシテ、會社ガ不當ナ利得ヲ得ルコトノナイヤウニ今監督ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○渡邊委員 不當ナ利得ヲシテ居ルヤウナモノニ對シテ監督ヲスルト云フヤウナ御話ヲ私ハ聞イテ居ルノデヤナイ、今マデノ利益ハ不當デアッタラウト御認メデヤナイノデスカ、今マデノ利益ハドウデスカ

○黒田政府委員 先程王子製紙ガ一億圓モ儲ケテ居ルデヤナイカト云フヤウナ御話ガアッタヤウデゴザイマスガ、具體的ノ數字ハ困難カトハ存ジマスガ、左様ニ暴利ヲ得テ居ルヤウニハ存ジテ居リマセヌ、尙ホ御承知ノヤウニ從來「トラス」ノ形態ニアリマスモノモ自由デアッタノデアリマスガ、ソレガ昨年から重要産業統制法ニ依ッテ監督ヲ受ケルコトニナツタノデアリマスカラ、今後ハ勿論其獨占力ニ依ッテ消費者ニ迷惑ヲ掛ケルトカ云フヤウナコトハ、十分ニ取締リ得ル實情ニナツテ居ル次第デゴザイマス、

法律ノ精神ニ從ッテ吾々ト致シマシテモ、常ニ監督ヲ怠ラナイデヤッテ行カウト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○渡邊委員 私ハ監督ヲ怠ッタカ怠ラナイトカ言フノデヤナイ、今マデノ値段ヲアタハ暴利ト認メナイカ、大體時勢ニ妥當ナル値段ダト思ッテ居ラレマスガ、サウシテ今マデハ消費者ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ナイト云フ御精神デスカ、サウ承ッテ宜シイノデスカ

○黒田政府委員 左様ニ御承知ナスッテ宜シウゴザイマス

○渡邊委員 ソレヲ承ッテ置ケバ宜イノデス、自動車ノコトデ一寸御同致シタイ、自動車ノ工業ヲ保護スル御話ヲ屢、伺ヒマシタガ、此保護スルト云フ具體的ノ對象ハ、私等考ヘテ居リマスノニ日本デハ日産ト豐田ト云フモノガ主ナモノト考ヘテ居ルノデスガ、サウデヤナイノデスカ

○小島政府委員 政府ニ於キマシテ保護獎勵シマスル自動車ハ、曩ニ標準型自動車ト云フモノヲ、商工省ヲ中心トシマシテ關係各省ニ於テ調査シマシタ結果之ヲ定メマシテ、從來是ガ助成金ヲ交付スル等保護助成ヲ致シタノデアリマスガ、只今國策トシテ考ヘテ居リマス國產自動車ト云フモノハ、

大體大量生産ノ基礎ノ上ニ於テ自動車工業ヲ確立スル趣旨ヨリシテ大衆向ナル自動車ヲ指シテ居リマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ只今政府ノ許可ヲ得テ自動車ヲ製造シテ居リマスモノハ、豐田紡織機株式會社、及ビ日産自動車株式會社デアリマシテ、其兩會社ニ於テ現在造ッテ居リマスル御承知ノヤウナ自動車ヲ、大體大衆向ノ自動車トシテ獎勵シテ居リマス

○渡邊委員 ソレデハ一遍ニ御伺シマス、日産ト豐田ト車ハ、今ハ大體ニ於テ亞米利加物ヲ「モディファイ」シテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、亞米利加物ハ歐洲物ニ比ベルト、車ノ耐久力ハ約半分以上、油ノ消費量ハ五割以上多イ、ソレカラ部分品ノ能力モ、持チモ半分以上、是ハモウ商工省デハ御承知グラウト思フ、サウ云フモノヲ補助シテ保護スルト云フコトハ、日本ハ御承知ノ通り幾ラ日産ト豐田ヲ保護シテモ、年ニ二萬臺乃至三萬臺ガ一杯グラウト思フ、亞米利加ノ一日ノ產額ト、日本ノ年產額ト同ジ位ニシカ今ノ所ハナレヌヤウナ、工場ノ設備ノ仕方デアリマス、サウ云フ風ナ僅ナ車ヲ作ルノニ保護スルノナラバ、歐洲物ノヤウナ本當ニ力ノアル、本當ニ耐久力ノアル、而モ油ノ消費量ノ非常ニ

少イ車ヲ造ラセルヤウニ保護ノ仕方ヲ何故セヌノカト、私ハ非常ニ不思議ニ思ッテ居タノデアリマスガ、其點ハドウ云フ譯ナンデセウカ

○小島政府委員 渡邊委員ノ御述ニナリマシタ御趣旨ハ、我國ニ於テ保護獎勵スベキ自動車ノ種類ハ、我國ノ國情ヲ十分考ヘタ上デ、之ヲ決定スベキデハナイカト云フ御趣意ト存ジマスガ、其根本ノ御趣意ニ付テハ私共モ感ヲ同ウスル點ガ少クナイノデアリマス、元々大衆向自動車ノ製造ヲ保護獎勵スル其事情ハ、從來我國ニ於キマスル各種ノ經驗ニ鑑ミマシテ、此際急速ニ我國ニ於キマスル自動車ノ保有臺數ヲ増加シテ置クコトガ國防上必要デアル、而シテ安イ車ヲ大量ニ生産スル所謂大量生産ノ基礎ノ上ニ自動車工業ヲ確立スルコトガ、此際急務デアル、斯ウ云フ様ナ見地カラ、大體我ガ國民ノ間ニ大衆向自動車トシテ需要セラレテ居リマスル「フォード」「シボレー」ト云フモノヲ、此際ノ對象トシテ、是ガ製造ヲ獎勵スルコトニ相成ツ次第デアリマス、併ナガラ我國ハ御承知ノ通り燃料資源ニ於テモ甚ダ乏シイノデアリマスルカラ其ノ燃料消費ノ點カラ又道路其他地勢竝ニ國民ノ經濟力ト云フヤウナ點カラ、其ノ他諸事情ヲ

考察致シマシテ、今後我國ニ於テ保護獎勵スベキ自動車ノ型ヲ、如何ナルモノニスルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、政府トシマシテモ篤ト調査研究ヲ遂ゲ我ガ國情ニ適シタル自動車ヲ選定シタイト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 大體分リマシタ、安イモノヲ目的トシテヤラレタヤウニ聞エルノデスガ、併シ機械化部隊ナンカニ重大ナル役割ヲ果ス自動車ノ本質ヲ考ヘルト、私ハ一日モ早くモット堅牢ニシテ、日本ノ國防ニ貢獻シ得ル車ヲ造ッテ戴キタイ、安カラウ惡カラウデ、亞米利加ノ車ハ御承知ノ通りニ非常ニ惡イ、御承知ノ通り亞米利加ハ「フル・キャパシティ」デ國內産業ノ第一ヲ占メテ居ルノダカラ非常ニ惡イ、油ノ非常ニ惡イモノヲ使フ、「ボデー」ダケヲ改良シテ内容ハ一寸モ改良シテ居リマセヌ、ダカラ成ベク國防ノ第一線ニ使ハシテモ耐久力ノアルヤウナ車ヲ、平時カラ使フヤウニ心掛ヲ願ヒタイ、ソレヲ私ハ御願スルノデス、ソレカラモウ一點御伺シタイガ、砂糖ノ問題デスガ、事情ハ能ク分ッテ居リマスガ、期日ハドウナッテ居リマスカ

○大矢政府委員 十月一日カラ施行スルコトニナッテ居リマス、法律ノ附則ニ書イテ

ゴザイマス

○山道委員長 此際皆サンニ申上ゲマス、御協議申シマシタ通りニ、是デ一應御通告ニナリマシタ質問者各位ノ質問ハ終了致シマシタ、之ヲ以テ大體質問ハ終了致シタノデアリマス、此際御約束シテ置キマシタ山田委員カラ御尋ニナッテ居リマシタ油ノ貯藏ニ關シマスル經過ニ付テ、燃料局長官カラ御答辯ヲ承ルコトニナッテ居リマスガ、是ハ祕密會デナクテハナラヌト云フコトデアリマスカラ、是カラ祕密會ニ移リマス、御關係以外ノ諸君ノ御退場ヲ望ミマス

〔午後三時五十分祕密會ニ入ル〕

〔以下筆記〕

○山道委員長 是ニテ祕密會ヲ終リ次回ハ明日午後一時ヨリ開會スル旨ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

午後四時十七分散會

昭和十二年八月二日印刷

昭和十二年八月三日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所